

2 年 次 生

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Tp)Ⅲ	遠山拓志

科目概要

- 1、基礎の強化
- 2、基礎理論の理解
- 3、スケール、Lickの習得

到達目標

コープラッシュを始めとする教本を使い、基礎技術の向上を目指します。
基礎的なスケール、コードアルペジオ等を習得し、単純コードのアドリブに応用できるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	顔合わせ、授業内容の説明、
第2回	基礎1	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第3回	基礎2	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第4回	基礎3	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第5回	基礎4	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット、ハイノートチャレンジ
第6回	基礎5	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット、ハイノートチャレンジ
第7回	試験1	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を 出題。デュエット、音域チェック。

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	1クォーターまでの確認
第2回	基礎6	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大
第3回	基礎7	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大
第4回	基礎8	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大
第5回	基礎9	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大、初見演奏
第6回	基礎10	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大、初見演奏
第7回	基礎11	コープラッシュ、スケール、リップスラー 音域の拡大、音圧の拡大、初見演奏
第8回	試験2	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を 出題。デュエット、音域チェック。新曲視奏。

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率
演奏技術の向上を判定します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Tp)IV	遠山拓志

科目概要

- 1、基礎の強化(音域の拡大、音圧の拡大)
- 2、基礎理論の理解
- 3、スケール、Lickの習得

到達目標

コープラッシュを始めとする教本を使い、基礎技術の向上を目指します。
基礎的なスケール、コードアルペジオ等を習得し、単純コードのアドリブに応用できるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	2クォータまでの確認
第2回	基礎12	コープラッシュ、スケール、リップスラー 代理コード、裏コード、
第3回	基礎13	コープラッシュ、スケール、リップスラー 代理コード、裏コード、
第4回	基礎14	コープラッシュ、スケール、リップスラー 代理コード、裏コード、
第5回	基礎15	コープラッシュ、スケール、リップスラー 代理コード、裏コード、ヘッドアレンジ、
第6回	基礎16	コープラッシュ、スケール、リップスラー 代理コード、裏コード、ヘッドアレンジ、
第7回	試験3	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題。デュエット、音域チェック。新曲視奏。

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	3クォータまでの確認
第2回	基礎17	コープラッシュ、スケール、リップスラー 自由に演奏してみよう!
第3回	基礎18	コープラッシュ、スケール、リップスラー 自由に演奏してみよう!
第4回	基礎19	コープラッシュ、スケール、リップスラー 自由に演奏してみよう!
第5回	基礎20	コープラッシュ、スケール、リップスラー 演奏スタイルの研究
第6回	基礎21	コープラッシュ、スケール、リップスラー 演奏スタイルの研究
第7回	基礎22	コープラッシュ、スケール、リップスラー 演奏スタイルの研究
第8回	試験4	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題。Blues進行のソロ演奏。デュエット曲の演奏。音域チェック。

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率
演奏技術の向上を判定します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニングⅢ (Sax)	佐々木亜紀子

科目概要

1つのコード進行から、様々なソロアプローチが出来るように学びます。

到達目標

ジャンルにあったソロフレーズをたくさん習得する事を目標にします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズスケール1	ミクソリディアンビバップスケールを学びます。
第2回	ジャズスケール2	ミクソリディアンビバップスケールのフレーズを学びます。
第3回	ジャズスケール3	ミクソリディアン \sharp 6thスケールとフレーズを学びます。
第4回	ジャズスケール4	ロクリアン \sharp 2thスケールとフレーズを学びます。
第5回	ジャズスケール5	コンビネーション・デミニッシュスケールを学びます。
第6回	ジャズスケール6	コンビネーション・デミニッシュスケールのフレーズを学びます。
第7回	試験	フレーズ例を12keyで演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズスケール7	ホールトーンスケールを学びます。
第2回	ジャズスケール8	ホールトーンスケールのフレーズを学びます。
第3回	ジャズスケール9	クロマティックスケールのフレーズを学びます。
第4回	ジャズスケール10	4thフレーズを学びます。
第5回	ジャズスケール11	Ⅲ VI II Vフレーズを学びます。
第6回	ジャズスケール12	Ⅲ VI II Vフレーズを12keyで演奏します。
第7回	ジャズスケール13	実際に曲を分析して、様々なジャズスケールを取り入れながらアドリブソロを演奏します。
第8回	試験	ジャズスタンダード曲のアドリブ例の演奏と自分自身のアドリブソロを演奏します。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニングⅣ(Sax)	佐々木亜紀子

科目概要

様々なソロアプローチを考え、自分らしいフレーズが組み立てられるように演奏技術を磨きます。

到達目標

所見の曲でもアドリブソロが出来るようになることを目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	様々なコード解釈1	裏コードとスケールの関係性を学びます。
第2回	様々なコード解釈2	裏コードの曲を実際にアドリブしてみます。
第3回	様々なコード解釈3	リズムチェンジの曲をアドリブしてみます。
第4回	様々なコード解釈4	リズムチェンジの曲のアドリブ例の演奏と、自分自身のアドリブソロを演奏します。
第5回	様々なコード解釈5	7thコード一発のフレーズを学びます。
第6回	様々なコード解釈6	7thコード一発の曲のアドリブ例の演奏と、自分自身のアドリブソロを演奏します。
第7回	試験	3クォーターで取り上げた曲から任意で選び、アドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	プレイヤーから学ぶ1	ファンキーフレーズを学びます。
第2回	プレイヤーから学ぶ2	ファンキーフレーズを各自で提案し、それを皆で演奏してみます。
第3回	プレイヤーから学ぶ3	ビバップフレーズを学びます。
第4回	プレイヤーから学ぶ4	ビバップフレーズを各自で提案し、それを皆で演奏してみます。
第5回	プレイヤーから学ぶ5	コルトレンチェンジを学びます。
第6回	プレイヤーから学ぶ6	スムーズジャズスタイルを学びます。
第7回	プレイヤーから学ぶ7	各自影響を受けたプレイヤーのフレーズを発表・演奏してもらいます。
第8回	試験	4クォーターで取り上げた曲から任意で選び、アドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Gt)Ⅲ	菅原潤子

科目概要

ギター演奏における基礎を学びます。
読譜&採譜。

到達目標

ギター演奏における基礎を学び、バックিং演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	授業内容の説明 今後の授業の進め方確認
第2回	フォーム&運指の確認	フォーム&運指の確認 指板の理解
第3回	メジャースケールⅠ	メジャースケール5ポジション
第4回	メジャースケールⅡ	メジャースケール5ポジション。ダイアトニックコード
第5回	表情をつけるテクニック	ヴィブラート、ベンディング、スライド、ハンマリング&プリング等
第6回	コードフォームⅠ	コードフォーム & アルペジオ
第7回	試験	試験

クォーター末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	1クォーターのおさらい
第2回	コードフォームⅡ	コードフォーム & アルペジオ ダイアトニックアルペジオ
第3回	マイナースケール	3種類のマイナースケール。ダイアトニックコード
第4回	ペンタトニックスケールⅠ	ペンタトニックスケール5ポジション
第5回	ペンタトニックスケールⅡ	メジャー&マイナーペンタトニック
第6回	ブルース	ブルース演奏
第7回	コピー	既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する
第8回	試験	試験

学期末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Gt)IV	菅原潤子

科目概要

ギター演奏における基礎を学びます。
読譜&採譜。

到達目標

ギター演奏における基礎を学び、バックイング演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	2クォーターのおさらい
第2回	ドリアン	ドリアン
第3回	フリジアン	フリジアン
第4回	リディアン	リディアン
第5回	ミクソリディアン	ミクソリディアン
第6回	ロクリアン	ロクリアン
第7回	試験	試験

クォーター末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	3クォーターのおさらい
第2回	アナライズ	様々な楽曲をアナライズします
第3回	バックイング I	様々な音楽スタイルのバックイングを学びます
第4回	バックイング II	様々な音楽スタイルのバックイングを学びます
第5回	セカンダリードミナント	セカンダリードミナント
第6回	転回形 I	コードの転回形を学びます
第7回	コピー	既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する
第8回	試験	試験

学期末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Key)Ⅲ	藤本暁子

科目概要

1年次に引き続き、アンサンブルや、ジャズセッションそして自己のライブ活動に必要なキーボードのテクニック(主にコードに関して)を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めていきます。加えて、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

到達目標

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッション、といった授業に活用できたり、学科内の自主ライブや自己のライブ活動に活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	テンションコード	テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
第2回	テンションコード	テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
第3回	テンションコード	テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
第4回	テンションコード	テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
第5回	テンションコード	テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
第6回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、2Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第2回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第3回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第4回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第5回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第6回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第7回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、3Qに向けての目標を設定する。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Key)IV	藤本暁子

科目概要

アンサンブルや、ジャズセッションに必要なキーボードのテクニック(主にコードに関して)を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めていきます。加えて、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

到達目標

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッションといった授業に活用できたり、学科内の自主ライブに活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オープンコード	オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
第2回	オープンコード	オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
第3回	オープンコード	オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
第4回	オープンコード	オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
第5回	オープンコード	オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
第6回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、4Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第2回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第3回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第4回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第5回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第6回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第7回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、2年間学習したことを振り返る。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(B)Ⅲ	三枝俊治

科目概要

ベースプレイヤーに必要なコードの知識、スケール、テクニック、様々な音楽のスタイル等を実際の演奏の中で学んでいきます。セッションでの対応力や、少し難易度の高いリズムのアプローチにも挑戦してもらいます。

到達目標

1クォーターはジャズ、ブラジリアン、ラテン、レゲエ等様々な音楽的スタイルの認識を深め、スタイルに沿った演奏ができるようになる事が目標です。2クォーターは特にジャズのスタイルの理解を深め、インプロヴィゼーションとメロディーの演奏のクオリティアップを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2年次オリエンテーション	授業方針の説明と合わせて、ベースプレイヤーとしての様々な活動形態を提示し、各自の希望する将来像をイメージしてもらいます。
第2回	1クォーター基礎確認課題と運指	HMP5Bスケールの運指をハーモニックマイナースケールと関連付けて考え、セブンスコードでの実際の活用を学びます。
第3回	ブラジリアンのリズム	サンバ、ボサノヴァ等ブラジリアンのスタイルを学び、ポップスやジャズ、フュージョンへの活用を実践します。
第4回	シンコペーションのメロディ	Tristeza を題材に、シンコペーションが連続するメロディの演奏を練習します。
第5回	レゲエのスタイル	ベースラインだけでコード感が成立するレゲエのスタイルを通して、コードトーンの自由なアルペジオを練習します。
第6回	ラテンのリズム	特にソング、サルサのリズムの演奏を通して、頭抜きのリズムのスピード感と正確なサブディヴァイドを練習します。
第7回	様々なスタイルの演奏(試験)	1クォーター中に演奏した馴染みのあるコード進行を使って、様々なスタイルの理解と演奏力をテストします。

クォーター末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。1クォーターで学んだスタイルに則った演奏ができるかどうかを採点します。また、曲の中でビートを変えずにスタイルを変えるフレキシビリティも採点します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3拍子のリズム	Don't Give Up, Footprintsなどを題材に、3拍子の曲を6/4または6/8拍子的解釈で演奏することを学びます。
第2回	アドリブ時のセカンダリードミナントの扱い	Isn't She Lovely を題材に、セカンダリードミナントのダイアトニックから外れる音を有効に活用する演奏を学びます。
第3回	ブルース	ブルースのメロディのフォームを学び、ブルーススケール、ブルーノート等の理解を深め、メロディを作って演奏します。
第4回	マイナーブルースの代理コード	マイナーブルースのバリエーションに富んだ代理コードを学び、インプロビゼーションへ応用して演奏します。
第5回	ジャズのメロディの演奏	スタンダードを題材に、ジャズのスタイルに沿ってメロディを演奏します。夏休み向け挑戦課題を出します。
第6回	ゴーストノート	ジャズのメロディやインプロビゼーションに於けるゴーストノートの重要性を認識し、課題曲を実際に演奏します。
第7回	パッシングディミニッシュ	It Could Happen To You を題材に、パッシングディミニッシュと代理 II-Vの使い方を学びます。
第8回	ジャズのメロディとアドリブ(試験)	1,2クォーターで取り上げたスタンダード曲のメロディやとインプロビゼーションの演奏をテストします。

学期末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。試験ではメロディーの演奏技術とスタイルに沿った表現、及びインプロヴィゼーションの実力を採点します。1,2クォーターの点数を合わせて評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(B)IV	三枝俊治

科目概要

インプロヴィゼーションの理論的アプローチや、スタンダード曲の拍子の変更など、高度な演奏方法を実践します。また、インプロヴィゼーションを助ける、モードやペントニックスケールの応用、ディミニッシュやオーギュメントの拡大解釈を学びます。

到達目標

理論的アプローチが各自のツールとなって、より自由な表現、自在な演奏の為に活用できるようになる事と、様々なリズムのアプローチをインプロヴィゼーションや作曲／アレンジに活用できるようになる事が目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3クォーター基礎確認課題と運指	ジャズマイナーから派生したMixo-lydian b6、Altered scale等の効率的な運指を考え楽器の全音域で演奏します。
第2回	拍子の変更	All The Things You Areや枯葉などのスタンダード曲を3拍子や5拍子で演奏してみます。
第3回	同音価の音符で拍子の変更	3連符の4拍子と、同じ音価の音符を16分音符に捉えた3拍子を交互に演奏してみます。
第4回	一定のビートと別区切りのフレーズ	Fawly Tenors を題材に、16分音符の3つ割り、5つ割りのフレーズを、ビートをしっかり捉えながら演奏します。
第5回	モードのインプロヴィゼーション	So What を題材に、ドリアンモードのインプロヴィゼーションを、様々なアイデアを取り入れながら演奏します。
第6回	セブンスコードのインプロヴィゼーション	一発物と呼ばれる1つだけのセブンスコード上でのインプロヴィゼーションのバリエーションを考えます。
第7回	インプロヴィゼーション(試験)	モードとセブンスコード一発物のインプロヴィゼーションをテストします。

クォーター末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。通常授業時間の平常点に加え、試験では単調になりがちなモードと一発物のインプロヴィゼーションを、如何に豊かに表現するかを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マルチトニックシステム	Giant Steps を題材に、マルチトニックシステムの曲のインプロヴィゼーションを練習します。
第2回	マイナーペントニックスケールの応用	メジャーセブンス、セブンス、マイナーセブンスに使えるペントニックスケールを考えます。
第3回	裏コードと裏スケール	セブンスの裏コード代理とLydian b7、Altered scale の関係を確認し、実際に演奏して響きを確かめます。
第4回	テンションとスケール	Kary's Trance のコード進行を題材に、7th、b9コードに於ける幾つかのスケールとクロマチックアプローチを演奏します。
第5回	セブンスのディミニッシュ展開	7th,b9,♯13をディミニッシュで展開した4つのセブンスコードとそのII-Vが実際の曲の中でどう使われているか学びます。
第6回	セブンスのオーギュメント展開	7th,b13をオーギュメントトライアドで3つに展開するPat Martinoの理論を学び、実際に演奏してみます。
第7回	セブンスコード全般	様々なテンションとスケールが使えるセブンスコードでのインプロヴィゼーションを実践します。
第8回	インプロヴィゼーション(試験)	幾つかの理論、スケールを自分のツールとして身につけ、実際に演奏します。

学期末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。試験では授業で学んだ様々な理論的アプローチを、実践のツールとして使えるかどうかを見ます。3.4クォーターの点数を合わせて評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Ds)Ⅲ	増田 博之

科目概要

打楽器は様々な音楽ジャンルで使用され、楽器の種類も多く、また様々な奏法があります。この授業では主にポピュラー音楽の分野で使用される楽器の奏法とリズムの作り方を学び、その実践としてリズム・アンサンブルを演奏します。また、その中でフィルインやアドリブの作り方についても学んでいきます。

到達目標

ドラムセット以外の打楽器の演奏方法やジャンルによつての違いを研究し、それぞれに応じたアプローチを考えます。リズムアンサンブルを通して各ジャンルのノリや各楽器の役割を研究します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クローズドロール	クローズドロールの奏法の説明、スティックの動き、音色の作り方、音量の出し方。
第2回	Congaの奏法	音の出し方、基本リズムパターンの説明。
第3回	Timbales 小物パーカッションの奏法	楽器の扱い方、音の出し方、基リズムパターンの説明。
第4回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より
第5回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より
第6回	試験準備	1クォーターで学習したことの確認、復習。
第7回	テスト	クローズドロール pp-ff-pp Correction Drum Solos より1曲

クォーター末試験評価方法

正しい奏法が身についたか。リズムのポイントを理解してノリのある演奏が出来たか。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	打楽器アンサンブルの演奏	パーカッションアンサンブルの譜読み、練習
第2回	打楽器アンサンブルの演奏	パーカッションアンサンブルの音作り
第3回	ブラジル系パーカッションの奏法	ボサノバ、サンバ等で使用される楽器の奏法について
第4回	キューバ系パーカッションのアンサンブル	コンガ、ティンパレス等を使ったラテンリズムアンサンブルの演奏
第5回	ドラムセットとパーカッションのアンサンブル	ドラム、コンガ、ティンパレス等を使ったリズムアンサンブル(アドリブも含む)
第6回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より
第7回	試験準備	2クォーターで学習したことの確認、復習。
第8回	テスト	打楽器アンサンブルの演奏 Drums Percを使ったリズムアンサンブル、Correction Drum Solos より1曲

学期末試験評価方法

正しい奏法が身についたか。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Ds)IV	増田 博之

科目概要

クラシックパーカッションの練習曲やアンサンブルを演奏します。また、ドラム・パーカッションを使ってのリズムアンサンブルの演奏を行います。

到達目標

楽譜に書かれたことを読み取り、それを正しい解釈で演奏する技術を身につけます。他のパートを聴きアンサンブル能力の向上を目指し曲全体の完成度を高めていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より
第2回	エチュードの演奏	Modern School for S.Dより Portraits In Rhythmより
第3回	Drums Percを使ったリズムアンサンブル	アドリブを含むリズムアンサンブルの演奏。
第4回	Drums Percを使ったリズムアンサンブル	リズムアンサンブルの演奏、音作り。
第5回	エチュードの演奏	Modern School for S.Dより Portraits In Rhythmより
第6回	試験準備	3クォーターで学習したことの確認、復習。
第7回	テスト	Drums Percを使ったリズムアンサンブル エチュードより1曲

クォーター末試験評価方法

正しい奏法と音程で演奏出来たか。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	打楽器アンサンブルの演奏	パーカッションアンサンブルの譜読み、練習
第2回	打楽器アンサンブルの演奏	正確に楽譜を演奏するためのテクニック
第3回	打楽器アンサンブルの演奏	全体の音楽作り
第4回	エチュード演奏	Modern School for S.Dより Portraits In Rhythmより
第5回	エチュード演奏	Portraits In Rhythmより
第6回	エチュード演奏	Portraits In Rhythmより
第7回	試験準備	4クォーターで学習したことの確認、復習
第8回	テスト	打楽器アンサンブルの演奏 エチュードより1曲

学期末試験評価方法

正しい奏法が身についたか。楽器の特性を捉えた演奏が出来たか。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Tp,Tb)III	宮本裕史

科目概要

ジャズ & ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための学習です。1年次に身につけた技法の洗練と新たな手法の導入を並行して行います。

到達目標

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での即興的メロディ創造表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現と音階的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	講義概要説明など	前年で身につけた知識や技法の習得度の確認。春休みでの成長度合いのチェックをします。
第2回	分散和音を使った和声解決表現 6	V7から抽出した3、5、7、b9アルペジオとImアルペジオの反復を様々な調で即興で演奏します。
第3回	複合した手法での和声解決表現 1	上記アルペジオとCombination of diminished scaleを併用したドミナント部分でのメロディ表現法の練習をします。
第4回	複合した手法での和声解決表現 2	上記練習のテンポアップ、ならびにアプローチノート各種を併用した練習をおこないます。
第5回	複合手法での旋律伸縮表現 1	IΔ、IIIm、Imなどの際に行う、アプローチノート挿入、ドミナント挿入、リズムフィギュア変更などメロディ伸縮練習です。
第6回	複合手法での旋律伸縮表現 2	上記練習を様々な調で練習します。
第7回	1クォーターのまとめ	1～6回の授業の理解度を、質問・筆記(ホワイトボードへの板書)・実演にて確認し、追加解説にて不足を補います。

クォーター末試験評価方法

第7回授業での質問・筆記・実演にて判断。それぞれの理解の度合いを評価します

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	旋律的短音階 Melodic Minor 1	マイナーコードの上でメロディックマイナー中心のメロディづくりを練習します。
第2回	旋律的短音階 Melodic Minor 2	上記練習を土台にII7やV7alt、VII b7(#11)などのシチュエーションでメロディックマイナーを使用する練習をします。
第3回	これまでの手法の統合 1	これまで身につけた各技法を統合したアドリブラインを、譜面上で作成し、それを評価と解説し理解を深める。
第4回	これまでの手法の統合 2	上記譜面を再制作し、習得度を確認。同時に演奏し、その譜面にマッチした吹き方やリズムなどの最適解などを探ります。
第5回	これまでの手法の統合 3	上記技法統合をスローテンポながらもリアルタイムで演奏し訓練。情報処理速度の向上を目指します。
第6回	夏休み明けの進歩確認	上記技法統合のスピードを長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第7回	模擬試験と採点	次週行う上記技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。
第8回	譜面提出と実演(試験)	技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

学期末試験評価方法

理解度、習得度を重要視し採点。即興実技は多少のテンポダウンを許可しますが、実際のジャムセッション・ライブでも授業で身につけた技術を発揮できそうかどうかを審査します。

ジャズ&ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(金管)IV	宮本裕史

科目概要

春学期につづき、ジャズ&ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための基礎部分学習をさらに進め、同時に複数の技法の統合訓練もしていきます。

到達目標

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での和声進行表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現と音階的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ダブルタイムとアップテンポ 1	現在得ている技術を総合し、自分の能力、自分の楽器の特性の中で無理のない範囲の高速フレーズを制作します。
第2回	ダブルタイムとアップテンポ 2	前週の制作フレーズの練習や応用。そしてさらに同様な制作作業をします。
第3回	ダブルタイムとアップテンポ 3	制作した高速フレーズの拍ずらし、連結、即興微調整を訓練します。
第4回	バラード 1	前週までの応用で、バラードでの2倍、4倍テンポでのアドリブを。伴奏と違うビート階層で演奏する手法を学びます。
第5回	バラード 2	バラードにおける様々な音価を使うメロディアスなアドリブ。多様なインターバルの魅力に応用した旋律作りをします。
第6回	バラード 3	ジャズブルース和声進行の編集可能なバリエーションを確認し今までの技法をあてはめソロを書いて演奏してみます。
第7回	カラオケを使ったセッション(試験)	期末試験として、オーソドックスな曲を8曲ほど事前に決めておき、それをジャムセッション的にアドリブ合戦してみます。

クォーター末試験評価方法

各技法の偏りは問題とせず、講師が個々の生徒の演奏をソリストとして魅力を感じたかどうか、どれくらい魅力を感じたかを重視し評価します。明らかな間違いや重度の理解不足を見つけない限り減点はしません。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Caravan	V7でのsus4、Combination of Diminished、Alterdの実践的な使用を研究します。
第2回	3拍子	3拍子でのアドリブを様々な曲を題材に演習します。
第3回	ディレクションとサジェスチョン	アドリブ中の合図の発信と受信、そしてその項目について研究します。
第4回	冬休み明けの進歩確認	アドリブにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第5回	無伴奏	無伴奏でも成立するソロや管楽器同士のデュオでのアドリブの実現を目指します。
第6回	無伴奏とインタープレイ	モチーフの模倣や定石的掛け合いなどを多用したリレーを、数小節単位でソロ交代を続けます。
第7回	模擬試験と採点	次週行うジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。曲は選択自由。
第8回	譜面提出と実演(試験)	ジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

学期末試験評価方法

各技法の偏りは問題とせず、講師が個々の生徒の演奏をソリストとして魅力を感じたかどうか、どれくらい魅力を感じたかを重視し評価します。明らかな間違いや重度の理解不足を見つけない限り減点はしません。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Sax)Ⅲ	宮崎隆睦

科目概要

1年次に引き続き、楽器を演奏する為の基礎、アンブシュア、呼吸法を始め、メロディーラインの歌い方、アドリブラインを構築する手法を幅広く勉強して行きます。ロングトーンに始まり、様々なスケール&パターン、アーティキュレーションを学んで行きます。ポピュラー音楽理論も合わせて学びます。

到達目標

コードアナライズ、コードスケールを把握し、アドリブ演奏が自由自在に出来る能力を身に着ける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Lydian Scale	Lydianの把握
第2回	Mixolydian Scale	Mixolydianの把握
第3回	Dorian Scale	Dorianの把握
第4回	Spanish Phrigian Scale	Spanish Phrigianの把握
第5回	ハネ16th Beat	連続するMixolydian Scale
第6回	カリブソフィール	早いコードチェンジへの追従
第7回	学期末試験	自分で楽曲の構成を構築する

クォーター末試験評価方法

1年次に学んだポピュラー音楽理論を更に実践で応用出来るスキルを身につけて行きましょう。毎週色々なスケールを取り上げ、効果的なフレーズ、パターン等々を探って行きます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズ曲のアナライズ	オルタードスケール
第2回	ジャズ曲のアドリブ	オルタードスケール
第3回	ジャズ曲のアドリブ	メジャーとマイナーの混在する曲
第4回	Dorian Scale	Dorianの把握
第5回	Jazz Minor Scale	Jazz Minorの把握
第6回	様々なコードスケール	試験対策
第7回	アドリブのアプローチ	試験対策
第8回	学期末試験	自分で楽曲の構成を構築する

学期末試験評価方法

ジャズの基礎となるⅡm7-V7を基調としたジャズの要素の多い楽曲も取り入れて行きます。ジャズでは避けて通れないオルタードスケールのフレージングを基礎から付けて行きます。それぞれの楽曲のスケールをしっかりと把握しているかチェックします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Sax)IV	宮崎隆睦

科目概要

1年次に引き続き、楽器を演奏する為の基礎、アンブシュア、呼吸法を始め、メロディーラインの歌い方、アドリブラインを構築する手法を幅広く勉強して行きます。ロングトーンに始まり、様々なスケール&パターン、アーティキュレーションを学んで行きます。ポピュラー音楽理論も合わせて学びます。

到達目標

コードアナライズ、コードスケールを把握し、アドリブ演奏が自由自在に出来る能力を身に着ける。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	発表会	2クォーターの専攻試験曲をみんなの前で演奏する
第2回	J-POPバラード	Sweet Memoriesの演奏
第3回	Jazz Ballad	Mistyの演奏
第4回	クリシエ	1-6-2-5におけるフレーズパターン
第5回	ハネ16th Beat	1-6-2-5におけるフレーズパターン
第6回	アドリブのアプローチ	学生の試験曲を取り上げ解説
第7回	学期末試験	3クォーターで演奏してきた曲の中から1曲を選び、アドリブを含んだ演奏をする。

クォーター末試験評価方法

徐々に色々なジャンルの曲に取り組んで行きます。理論的な事と併せてリズムとグルーブ感も一つ一つクリアして行きましょう。それぞれのリズム&ビートを理解しているかチェックします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	発表会	3クォーターの専攻試験曲をみんなの前で演奏する
第2回	キーチェンジへの対応	Desafinadoの演奏
第3回	キーチェンジへの対応	Nica's Dreamの演奏
第4回	Con dimi scale	コードパターンに依るアドリブラインを作る
第5回	オルタードスケール	コードパターンに依るアドリブラインを作る
第6回	様々なコードスケール	学生の試験曲を取り上げ解説
第7回	アドリブのアプローチ	学生の試験曲を取り上げ解説
第8回	学期末試験	4クォーターで演奏してきた曲の中から1曲を選び、アドリブを含んだ演奏をする。

学期末試験評価方法

2年間のまとめとして、基礎のポピュラー理論を把握し、コードに対するアナライズと、そこから導かれるコードスケールに沿ったアドリブラインを作れるか、総合的に学んで行きます。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Gt)Ⅲ	寺屋ナオ

科目概要

様々はコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。1Qは昨年度の続きでマイナーキーのコード進行でのソロを学びます。2Qはクロマチックアプローチを活用したソロを学習します。

到達目標

1Qは、短調(Minor key)での代理コード(テンションノート)を活用できるようになることが目標です。2Qは、クロマチックアプローチを使って、よりBebop的なメロディーを作れるようになることが目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ1	Key=Cmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第2回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ2	Key=Cmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ2(テンションノートの活用)
第3回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ3	Key=Fmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第4回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ4	Key=Fmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ2(テンションノートの活用)
第5回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ5	Key=Bbmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第6回	マイナーキーの代理コードを使ったソロアプローチ6	Key=Bbmin上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第7回	実技試験	指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

クォーター末試験評価方法

指定したコード進行でソロをとってもらい、その内容が授業に沿っているか、で評価します。1年時と同様に、連続性の高い授業なので出席を重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クロマチックアプローチ1	コードトーンに対するシングルクロマチックを使ったソロアプローチ1
第2回	クロマチックアプローチ2	コードトーンに対するシングルクロマチックを使ったソロアプローチ2
第3回	クロマチックアプローチ3	コードトーンに対するダブルクロマチックを使ったソロアプローチ1
第4回	クロマチックアプローチ4	コードトーンに対するダブルクロマチックを使ったソロアプローチ2
第5回	クロマチックアプローチ5	コードトーンに対するシングルとダブルを複合したビーバップ的ソロアプローチ1
第6回	クロマチックアプローチ6	コードトーンに対するシングルとダブルを複合したビーバップ的ソロアプローチ2
第7回	クロマチックアプローチ7	コードトーンに対するシングルとダブルを複合したビーバップ的ソロアプローチ3
第8回	実技試験	指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

学期末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視します。実技試験は、指定したコード進行でソロをとってもらい、授業内容を反映した内容であるか、で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Gt)IV	寺屋ナオ

科目概要

様々はコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。3Qはモードを活用したアプローチを学習します。4Qは3Qの内容をコード進行上で応用するソロを学習します。

到達目標

3Qは、コード的でないモードを的確に表すメロディを弾けるようになることが目標です。4Qは、それを特定のコード進行で応用出来るようになることが目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	モーダルなソロアプローチ1	ChordalとModalの違いについて
第2回	モーダルなソロアプローチ2	Lydian Mode上でのソロアプローチ
第3回	モーダルなソロアプローチ3	Mixolydian Mode上でのソロアプローチ
第4回	モーダルなソロアプローチ4	Dorian Mode上でのソロアプローチ
第5回	モーダルなソロアプローチ5	Lydian Mode上でのソロアプローチ
第6回	モーダルなソロアプローチ6	Locrian Mode上でのソロアプローチ
第7回	実技試験	主音をCに固定して、授業で学んだモードのうち幾つかを演奏してもらいます。

クォーター末試験評価方法

前期に引き続き、出席を重視します。実技は、主音をCに固定し、授業内で学んだモードのうち幾つかを活用して演奏してもらい評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	モーダルなソロアプローチ7	Ionian ModeとAeolian Mode上でのソロアプローチ
第2回	モーダルアプローチの応用1	コード進行上でのモーダルなソロアプローチ活用1
第3回	モーダルアプローチの応用2	コード進行上でのモーダルなソロアプローチ活用2
第4回	モーダルアプローチの応用3	コード進行上でのモーダルなソロアプローチ活用3
第5回	シンメトリカルスケールを使ったアプローチ1	ディミニッシュスケールを活用したソロアプローチ
第6回	シンメトリカルスケールを使ったアプローチ2	ホールトーンスケールを活用したソロアプローチ
第7回	2年間のまとめ	様々なソロアプローチを再度見直し、自分のソロスタイルを考える
第8回	実技試験	指定したコード進行でソロをとってもらい、その内容で評価します。

学期末試験評価方法

引き続き、出席を重視します。実技は、指定したコード進行上でソロをとってもらい、その内容が一年を統括した内容であるか、で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション III	石田衛

科目概要

一年時に学んだ事を更に進めて、複雑なコード進行上でメロディーを即興的に創作する方法を学びます。また分数コードやモードについても学びます。

到達目標

初見で複雑なコード進行を把握し、それにフィットしたメロディーを即興的に創作する能力を身に着ける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	顔合わせ、授業授業内容の説明
第2回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	ペンタトニック
第3回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	マイナーペンタトニック
第4回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	メロディックマイナーとリディアン オーギュメント
第5回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	メロディックマイナーとリディアン7th
第6回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	メロディックマイナーとスーパーロクリアン
第7回	ジャズで頻繁に用いられるスケールたち	

クォーター末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	機械的なコード進行	トライアドを組み合わせる
第2回	機械的なコード進行	2トニックと4トニックとディミニッシュ
第3回	機械的なコード進行	Central Park Wes
第4回	機械的なコード進行	ヘキサトニックとオーギュメント
第5回	機械的なコード進行	3トニックシステム
第6回	機械的なコード進行	Have You Met Miss Jones
第7回	機械的なコード進行	Giant Steps
第8回	機械的なコード進行	

学期末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーションⅣ	石田衛

科目概要

一年時に学んだ事を更に進めて、複雑なコード進行上でメロディーを即興的に創作する方法を学びます。また分数コードやモードについても学びます。

到達目標

初見で複雑なコード進行を把握し、それにフィットしたメロディーを即興的に創作する能力を身に着ける。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	分数コード	パッシングとして用いられる分数コード
第2回	分数コード	augと解釈できる分数コード
第3回	分数コード	augと解釈できる分数コード
第4回	分数コード	sus4flat9と解釈できる分数コード
第5回	分数コード	sus4flat9と解釈できる分数コード
第6回	分数コード	7thと解釈できる分数コード
第7回	分数コード	

クォーター末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	インプロヴァイズの実践	straight8thと16th
第2回	インプロヴァイズの実践	Funk
第3回	インプロヴァイズの実践	Bossa nova
第4回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 1
第5回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 2
第6回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 3
第7回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 4
第8回	インプロヴァイズの実践	

学期末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Ba)Ⅲ	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材に、Bass lineやSoloの取り方を学びます。
前半はAutumn leaves、12小節Blues、を題材にメジャー、マイナーのⅡ-Vフレーズ、Blues Scaleでのアプローチを学びます。

到達目標

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏してスムーズにBass lineが作れること。
またSoloではメジャー、マイナーⅡ-V、Blues Scales、Turn aroundのリックなどをインプットする事を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Autumn leaves 4beat Bass line	Autumn leavesを題材にして、様々なwalking bassのアプローチを学びます。
第2回	♭9の使い方 Chromatic Approach	7thコード上で使用される3rdから♭9thへの動きや、クロマティック・ノートを学びます。
第3回	Autumn leaves Major Ⅱ-V	Autumn leavesを題材にして、Major Ⅱ-V(Cm7-F7)のソロの作り方、リックを学びます。
第4回	Major Ⅱ-V 実演	Major Ⅱ-V(Cm7-F7)で学んだソロの作り方、覚えたリックを実際に演奏してアウトプットしていきます。
第5回	Autumn leaves Minor Ⅱ-V	Autumn leavesを題材にして、Minor Ⅱ-V(Am(♭5)7-D7(♭9))のソロの作り方、リックを学びます。
第6回	Minor Ⅱ-V 実演	Minor Ⅱ-V(Am(♭5)7-D7(♭9))で学んだソロの作り方、覚えたリックを実際に演奏してアウトプットしていきます。
第7回	試験 Autumn leaves 実演	スムーズにBass lineやSoloが作れること、取れる事を評価のポイントとします。

クォーター末試験評価方法

演奏内容(スムーズにBass lineを作れること、メジャー、マイナーⅡ-VでSoloが作れること、インプットしたフレーズやリックを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	12小節BluesのBass line 組み立て方	12小節Blues(Fブルース)を題材にして、様々なwalking bassのアプローチを学びます。
第2回	12小節BluesのBass line 実演	Fブルースを題材にして学んだwalking bassを、実際に演奏してアウトプットしていきます。
第3回	Blues Scales	メジャー、マイナーBlues Scalesのアプローチをインプットして、どのように使うと効果的かを学びます。
第4回	Blues Scales 実演	Blues4度進行を題材にして、Blues Scalesを実際に演奏してアウトプットしていきます。
第5回	Blues Ⅱ-V, Turn around, Analyze	12小節Jazz Bluesの様々なコード進行や、Turn aroundをアナライズしていきます。
第6回	Blues Ⅱ-V, Turn around 実演	Jazz BluesのⅡ-VやTurn aroundに焦点を当てて、実際に演奏してアウトプットしていきます。
第7回	Blues 様々なkey Blues for alice	12小節Jazz Bluesの様々なコード進行を題材に、様々なkey(F.B♭.C.E♭等)でセッションをします。
第8回	試験 F Blues(Billie's bounce) 実演	スムーズにBass lineやSoloが作れること、取れる事を評価のポイントとします。

学期末試験評価方法

演奏内容(スムーズにBass lineを作れること、ブルージーなアプローチ、Ⅱ-VでSoloが作れること、インプットしたフレーズやリックを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Ba)IV	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材に、Bass lineやSoloの取り方を学びます。
後半はConfirmation、Candy、Donna lee、リズムチェンジ、を題材に、ショートII-Vフレーズ、サブドミナントマイナー、II7、Turn aroundでのアプローチを学びます。

到達目標

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏してスムーズにBass lineが作れること。
またSoloではメジャー、マイナーII-V、ショートII-V、サブドミナントマイナー、Turn aroundのリック等を、自分なりのフレーズでアウトプットしていくことを目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Confirmation 4beat Bass line	Confirmationを題材にして、様々なwalking bassのアプローチを学びます。
第2回	Confirmation(1~4) Major,Minor, short II-V	2拍ずつコードがチェンジするMajor,MinorのショートII-Vソロの作り方、リックを学びます。
第3回	Confirmation(1~4) Major,Minor, short II-V 実演	Major,Minor ショートII-Vで学んだソロの作り方、覚えたリックを実際に演奏してアウトプットしていきます。
第4回	Confirmation(5~8,13~16) Major,Minor, short II-V	2拍ずつコードがチェンジするMajor,MinorのショートII-Vソロの作り方、リックを学びます。またII7の音使いも学びます。
第5回	Confirmation(5~8,13~16) Major,Minor, short II-V 実演	Major,Minor ショートII-Vで学んだソロの作り方、覚えたリックを実際に演奏してアウトプットしていきます。
第6回	Confirmation(17~25) Long II-V	Confirmationを題材にして、Major II-Vのソロの作り方、リックを学びます。
第7回	試験 Confirmation 実演	スムーズにBass lineやSoloが作れること、取れる事を評価のポイントとします。

クォーター末試験評価方法

演奏内容(スムーズにBass lineを作れること、ショートII-VでSoloが作れること、インプットしたフレーズやリックを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	SD m	Candy、The Days of wine&rosesを題材にサブドミナントマイナーの機能や、音使いを学びます。
第2回	Candy、The Days of wine&roses 実演	サブドミナントマイナーで学んだ機能や音使いを、スタンダードを題材に実際に演奏してアウトプットしていきます。
第3回	Donna Lee(1~8) Solo by Dario Deidda	Dario DeiddaのDonna Leeのソロを題材に、主にII7、I7、の音使いを学びます。
第4回	Donna Lee(1~8) 実演	Donna Leeを題材に、主にII7、I7、の音使いを意識しながら、実際に演奏してアウトプットしていきます。
第5回	Donna Lee(8~16) Solo by Dario Deidda	Dario DeiddaのDonna Leeのソロを題材に、主にサブドミナントマイナー、II7の音使いを学びます。
第6回	Donna Lee(8~16) 実演 Donna Lee (16~32)Solo by Dario Deidda	Donna Leeを題材に、主にサブドミナントマイナー、II7の音使いを意識しながら、実際に演奏してアウトプットしていきます。
第7回	Donna Lee(16~32) 実演	Donna Leeを題材に、マイナーII-V、Turn around、II7、ディミニッシュの音使いを学びます。
第8回	試験 Donna Lee 実演	スムーズにBass lineやSoloが作れること、取れる事を評価のポイントとします。

学期末試験評価方法

演奏内容(スムーズにBass lineを作れること、SoloではショートII-V、II7、サブドミナントマイナー、Turn around等を実際の演奏で作れること、取れること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Ds)Ⅲ	山村牧人

科目概要

様々なジャンルに用いられるドラムセットという楽器のルーツや、楽曲の中での音楽的機能を考察しながらエクササイズ演習を行います。奏法の基礎、ジャンルやスタイルを特徴づける根源的要素を理解、習得します。

到達目標

演奏事例からドラミングのコンセプトを取り出して習得し、アンサンブルやバンドなど、自分自身の演奏の基礎、応用、オリジナリティへと役立てることを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	奏法の再確認	グリップ、フォーム、ペダル奏法、身体の動きについて、セオリーと自己流の範疇を確認します。
第2回	タイムの確認	リズムパターンやフレーズの元となる音符のタイミングの確認。
第3回	ダイナミクスとタッチ	音量表現と音色表現。スティック&ペダルのストローク・スピードの加減速。
第4回	リズム・フィールの考え方	音楽ジャンルと、リズム・フィールのカテゴリの違いを理解し、リズムパターンという考え方とフィールやグルーヴの捉え方へ展開。
第5回	コンビネーション演習(1)	4th～8th音符を使った、4肢のコンビネーション・トレーニング。
第6回	コンビネーション演習(2)	コンビネーション・フレーズにダイナミクスと音色表現を加えたトレーニング。
第7回	クォーター試験:スネア・エチュード	簡単なスネアエチュードに、セットドラミングのオスティナートを加えて演奏します。

クォーター末試験評価方法

授業での平常点を主として、試験演奏に現れる習得度や練習の達成度を加えて評価します。
試験点:30% / 平常点:50% / 出席点:20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	手順の考察と、手順によるドラミング展開	手順によるグルーピングとセット上の展開、リアルタイムの即興応用の演習。
第2回	メカニズムとテクニックの違い	手順やコンビネーションなど奏法の根底にあるメカニズムと、そこから組み立てるテクニックの考え方。
第3回	チューニング考察	奏法とチューニング、音楽ジャンルとチューニング、ドラムセットの性能とチューニングについて視点を学びます。
第4回	ロック系コンビネーション・ドラミング(1)	バックビート・スタイルのバリエーションと手足のコンビネーションのコンセプトの理解と演習。
第5回	ロック系コンビネーション・ドラミング(2)	プログレッシヴ・アプローチとスピード&パワーの紹介と導入。
第6回	ファンク系コンビネーション・ドラミング(1)	Swingの高速化とハーフタイム、16th note feelへの転換。実践的なバスドラムのバリエーション演習。
第7回	ファンク系コンビネーション・ドラミング(2)	スリップ・ビート、リニア系のテクニカル系トピックを使ったパターン演習。
第8回	学期末試験:バックビートスタイルの展開	8th～16thのスタイルを混在展開させた実技演奏。

学期末試験評価方法

ジャンルとそのテクニックへの理解度、奏法コンセプトの習得度を実技評価します。
試験点:30% / 平常点:50% / 出席点:20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Ds)IV	山村牧人

科目概要

黒人の歴史、ニューオーリンズ・ビートやアフロ6/8ポリリズムなどドラムセットのルーツをたどり、初期のスタイルから現代のドラム・シーンまで変遷を理解し習得を目指します。

到達目標

歴史の流れを知り、自分の音楽的立ち位置を理解することで、演奏に役立てることを目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	黒人の歴史と西アフリカのリズム	黒人発祥のリズムと、Sikyi, Adowaなど西アフリカのリズムアンサンブルの演習。
第2回	ニューオーリンズ・スタイル(1)	ニューオーリンズで生まれたセカンドラインのスネア奏法と、バスドラムとスネアの組み合わせ。
第3回	ニューオーリンズ・スタイル(2)	ドラムセットでのセカンドライン・スタイルとロック・ドラミングへの展開。
第4回	ニューオーリンズ・スタイル(3)	リニアやルーディメントなどテクニカルな要素を含んだコンテンポラリーなセカンドライン・ドラミングのアイデア
第5回	コール&レスポンス	2人以上のアンサンブルによるコール&レスポンスの理解とリズム・アンサンブル演習
第6回	アフロ6/8ポリリズム	6/8ナニーゴなどアフロ系ポリリズムと打楽器メロディによるドラミング演習
第7回	クォーター試験: 変拍子、混合拍子	同一テンポで複数の拍子を混合して実技演奏。

クォーター末試験評価方法

伝統的なスタイルとそのフィーリング、サウンドの再現を評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ラテン系スタイル(1) ブラジル	ラテン・ミュージックとドラミングスタイルの歴史。ブラジル系スタイルの演習
第2回	ラテン系スタイル(2) カリブ海周辺	カリプソ〜レゲエ〜スカ〜メレンゲなどカリブ海周辺の音楽紹介と演習。
第3回	ラテン系スタイル(3) キューバ	ソン〜ルンバ〜コンパルサなどキューバン・スタイルの紹介と演習。
第4回	ドラム・ソロ	ドラム・ソロの実例、考え方とパート作り。
第5回	フィール・チェンジ(1)	コンテンポラリーなビートスタイルとラテン〜ルーツ系のフィールチェンジ演習。
第6回	フィール・チェンジ(2)	変拍子やサブディバイズを使用したフィール・チェンジとギミック奏法。
第7回	オリジナル・エチュード演習	本学期に演習した奏法を盛り込んだドラム・パート譜に基づいた実技演奏の準備
第8回	クォーター試験: オリジナルエチュードの演奏	本クォーターで作成したオリジナルなエチュードを実技演奏。

学期末試験評価方法

オリジナルな演奏を目指して、どのような課題を設定し演奏したかを評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ラージアンサンブルⅢ	熱田公紀

科目概要

アレンジされた譜面を通して、正確な読譜力を養い、ソリ、トゥッティ、アドリブ等のラージアンサンブルの特徴を余すことなく、学習します。ジャンルもポップス、ロック、R&B、ジャズ、ラテンと幅広く取り上げ、それぞれのスタイルを身に付けていきます。

到達目標

楽曲の最後までしっかり練習し、完成度を高めます。フレーズのアーティキレーションはもちろんのこと、グルーブ感がしっかり表現できているかを目標にします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bb City	16ビートシャッフルの16分音符のはね方。F7-発でのアドリブへの考察。
第2回	Avance	変拍子の経験。モダンアレンジの学習。
第3回	Cotton Tail	Fast Swing。循環コードでのアドリブへの考察。
第4回	O Pato	ボーカルとのコラボレーション。ボサノバの体験。
第5回	Eternal Child	サンバの体験。オンコードでのアドリブへの考察。
第6回	通しリハーサル	セットリスト/ソロ・オーダー/MCの確認。
第7回	試験	他のクラスとの合同発表会。

クォーター末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Liberty City	Funk(Swing)のグルーブの理解。本セクションのアカペラソリ。
第2回	Change of mind	ジャズワルツの学習。グルーブの研究。
第3回	Freedomland	Funk(はねない16分音符)の把握。モダンアレンジの学習。
第4回	Continumm ~ Tean Town	バラードとファンクをメドレーで。アレンジへの考察。
第5回	The Peacocks	ジャズバラードの学習。グルーブをどう出すか。
第6回	Midnight Mambo	サルサスタイルの学習。ビッグバンドの体験。
第7回	通しリハーサル	セットリスト/ソロ・オーダー/MCの確認。
第8回	試験	他のクラスとの合同発表会。

学期末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ラージアンサンブルⅣ	熱田公紀

科目概要

後期では、さらに難解な楽曲を取り上げ技術の向上、音楽性の飛躍を目指します。読譜力のさらなる理解と楽曲の高い完成度を目標にします。

到達目標

様々なジャンルの楽曲をよく把握し、アドリブを含めプロレベルの演奏を目指して授業を進めていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Yolanda You Learn	ロックテイストの経験。疾走する8ビート。
第2回	Don't you worry about a thing	ボーカルとのコラボレーション。R&Bの体験。
第3回	Things ain't what they used to be	ミディアムスウィング。ブルースフォームの把握。
第4回	New Rochelle	16ビートシャッフルのグループ。本セッションのソリ。
第5回	(Used) be a Cha - Cha	ファンク。細かいリフの正確な把握。
第6回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第7回	試験	他のクラスとの合同発表会。

クォーター末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bud Powell	ミディアムスウィングの体験。5本のサクスのソリの研究。
第2回	James	ソフト8ビート。メロディの歌わせ方への考察。
第3回	River Waltz	3/4。8分音符がはねないワルツの体験。
第4回	Volcano for hier	疾走する16ビートの体験。グループをどう出すか。
第5回	Third Wind	サンバ3連シャッフル。構成を理解して大曲に挑む。
第6回	Esher's Sketch	混合拍子の学習。モダンアレンジへの理解。
第7回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第8回	試験	他のクラスとの合同発表会。

学期末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ラージアンサンブルⅢ	笠原 康弘

科目概要

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は昨年度の例です。

到達目標

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテインメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色んな要素を知ってもらえれば、と思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Shirokuma	アンサンブルに慣れる。
第2回	RED BARON	キューの出し方など
第3回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	アベイラブルノートスケールや使用方法など
第4回	Slaphappy	ファンクの理解
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロやアウトロの付け方
第6回	Trains	ダイナミクスを出して単調さからの脱却
第7回	試験	授業内ライブ

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Someday my prince will come	ポリリズムに慣れる。
第2回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	スケール、アドリブについて
第3回	Speed of Love	キメを合わせる練習、主張するソロの作り方など
第4回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	アレンジによって変化を出す方法
第5回	Cissy Strut	スケールチェンジするアドリブ
第6回	Logical monk	エンターテインメントを考える
第7回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロやアウトロの付け方
第8回	試験	授業内ライブ

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ラージアンサンブルⅣ	笠原 康弘

科目概要

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は昨年度の例です。

到達目標

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテインメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色んな要素を知ってもらえれば、と思います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	つつみこむように	ヴォーカルとのアンサンブルに慣れる。
第2回	Keyshia Cole - Love	バラードのバックিং
第3回	オリジナル楽曲	複雑なリズムに対応する
第4回	Tamashii	グルーブを付ける。
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第6回	全曲の合わせと調整	合わせと調整
第7回	試験	授業内ライブ

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	灯台	他のプレイヤーを良く聞いてインタープレイする
第2回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第3回	君じゃなきやダメみたい	コーラスもとってみよう。
第4回	Ain't No Other Man	コーラスもとってみよう。楽しんで演奏
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第6回	全曲の合わせと調整	1年間の総まとめ
第7回	全曲の合わせと調整	1年間の総まとめ
第8回	試験	授業内ライブ

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ラージアンサンブルⅢ	菅原潤子

科目概要

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。
1年間を通し、バンドとしても成長していきましょう。
※楽器の編成で楽曲は都度変更の可能性あり。

到達目標

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC等が出来るようになります。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	自己紹介 授業内容の説明
第2回	Them Change	Them Change
第3回	Get Up (I Feel Like Being a) Sex Machine	Get Up (I Feel Like Being a) Sex Machine
第4回	Pick Up The Pieces	Pick Up The Pieces
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	試験	アンサンブル試験 (ライブ形式)

クォーター末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	1クォーター試験の反省会
第2回	Starting Too Slow	Starting Too Slow
第3回	September	September
第4回	Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)	Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	通しリハーサル	通しリハーサル
第8回	試験	アンサンブル試験 (ライブ形式)

学期末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ラージアンサンブルⅣ	菅原潤子

科目概要

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。
1年間を通し、バンドとしても成長していきましょう。
※楽器の編成で楽曲は都度変更の可能性あり。

到達目標

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC等が出来るようになります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	2クォーター試験の反省会
第2回	Jungle Boogie	Jungle Boogie
第3回	Hideaway	Hideaway
第4回	A Natural Woman	A Natural Woman
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

クォーター末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	3クォーター試験の反省会
第2回	Move Over	Move Over
第3回	Purple Rain	Purple Rain
第4回	Soul Power	Soul Power
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	通しリハーサル	通しリハーサル
第8回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

学期末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ラージアンサンブルⅢ	遠山拓志

科目概要

スタンダード曲をはじめとした、様々なジャンルの楽曲にチャレンジします。
リズムアレンジや、コードアレンジ等を加えてクォータ毎にライブ形式で発表していきます。
メンバー同士でしっかりコミュニケーションをとり、アイデアを出し合ってください。
※下記の曲は過去の例です。

到達目標

演奏可能曲を増やせるよう、個人技術の向上、アンサンブル力の向上を目指します。
MCを含めた総合的なステージングが作れるようにしましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	顔合わせ、授業内容の説明、Bluesを演奏してみる。
第2回	Now's the time	セッションに慣れる
第3回	Watermelonman	まずは、マイナーペンター発でソロをとってみる
第4回	Feel like makin'love	ミディアムテンポのしっとり曲
第5回	Feel like makin'love	コードやリズムを変えて遊んでみる
第6回	Fly me to the moon	コードアナライズをしっかりと。イントロやエンディングを作ってみる
第7回	試験	1クォーターで練習した3～4曲をライブ形式で発表

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等積極的に取り組んでいるか等で判断します

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	1クォーター試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	枯葉	swingの理解、裏タンギングやアクセント、音の飲み方
第3回	枯葉	Funkのリズムで軽快に演奏してみる イントロ、エンディングを工夫してみる
第4回	the Chicken	Funkスタンダードの理解。ex.Dのみで構成された曲の効果的な演奏法
第5回	the Chicken	ブルースペンタとミクソリディアン、どちらがカッコイイか
第6回	Close to you	洋楽歌謡のアレンジおよびリアレンジ
第7回	Kid Jordan's 2nd line	2nd lineをあえて8ビートでロック風に
第8回	試験2	2クォーターで練習した3～4曲をライブ形式で発表

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等積極的に取り組んでいるか等で判断します

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ラージアンサンブルⅣ	遠山拓志

科目概要

前期より少し曲の難易度を上げていきます。
できるだけ学生の皆さんの希望曲を取り上げて、アイデアを出し合っていきましょう。

到達目標

人前で演奏するということの理解。また、自覚を持って演奏できるようにする。
メンバー同士のコミュニケーションがしっかりととれ、演奏に表せるようにする。
アレンジやステージングでのアイデアを出せるようにする。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	2クォータ試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	One more Once	CHA CHA CHAの理解、ラテンのリズム
第3回	Tp' Especial	トウンバオ、2-3の仕組み
第4回	Strasbourg	ハネ系リズムのノリ
第5回	Last Christmas	季節柄、こんなカバー曲も
第6回	Mornin	swingで始まり、16ビートでノリノリなアレンジにしてみよう
第7回	試験3	3クォータで練習した3~4曲をライブ形式で発表

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等
積極的に取り組んでいるか等で判断します

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	3クォータ試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	someday my prince will come	3拍子の理解
第3回	all blues	6/8のグループの理解
第4回	Got to be Real	Disco Funk を Cha Chaに?それともメタルに? アレンジを工夫してみる
第5回	Wind Machine	速い曲は音符を全部演奏しようとするしない
第6回	Joy Spring	複雑なコードチェンジにチャレンジ
第7回	all the things you are	勢いよくラテンアレンジで演奏してみる
第8回	試験4	4クォータで練習した3~4曲をライブ形式で発表

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等
積極的に取り組んでいるか等で判断します

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ラージアンサンブルⅢ	宮崎明生

科目概要

色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。様々なスタイルに合ったプレイスタイル、テクニックを学び、アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。

到達目標

年間4回、各クォーター末のアンサンブル試験に向けて、パフォーマンス含めてミニライブステージをやって行きます。見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージMC、一糸乱れぬアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指します！暗譜推奨です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介 自分のセルフ・プロデュース I Can't Turn You Looseの演奏	一年間一緒に音楽を作り上げる仲間へ、自分を知って貰い、興味を抱いて貰えるようセルフ・プロデュース兼ねて自己紹介しよう。
第2回	I Can't Turn You Loose Get Away	8beatの基礎、16th Funk beatの基礎。それぞれのセクションに必要な演奏技術を学ぶ。
第3回	Drive Timeとこれまでの2曲	16th Funk beat。キレの良いリズムの合わせ方。グループ、息の合わせ方。勢いの有るアドリブ演奏の方法。
第4回	My Mama Told Me So Samba Do Marcos	Funk Beat。粘りの有るメロディーの歌い方、ファンキーなアドリブ。Fusion Sambaのグループ。アドリブ講座。
第5回	You Make Me Feel Brand New	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

クォーター末試験評価方法

毎回の授業での取り組み方、各楽曲に対する完成度をチェックします。演奏技術の他、アドリブ演奏に不可欠なポピュラージャズ理論も含めて学びます。最終的にクォーター末試験に向け、チーム一丸となって総合パフォーマンス力がアップしているかチェックします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Rio funk	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。王道Fusionサウンドを極めます。16th beat Fusion
第2回	Copernicus Sister Sadie	高速なグループをこなす。キメセクションの多い曲の演奏。
第3回	Carnaval Room335	Samba Feel。細かく難解なパッセージへの取り組み。王道Fusion曲のリアレンジ。
第4回	Theme from Rocky	パワー全開での演奏とアドリブのリレー。
第5回	You Are Everything	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

二度目の試験ライブなので、初回気付かなかった演奏上の注意ポイントをクリアして行きます。全員とのアイコンタクトがしっかり出来ているかチェックします。(その為暗譜推奨です！) 勢いの有るステージングを目指します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ラージアンサンブルⅣ	宮崎明生

科目概要

人前で演奏する事、ステージ上で最大限パフォーマンスする事を極めて行きます。
 色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。
 アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。

到達目標

見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージMC、一糸乱れぬアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指します！
 可能な限り暗譜で臨みましょう！

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Bob's jazz	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。 勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第2回	Bob's jazz	勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第3回	Garden Party	展開の多い曲での場面に合ったアンサンブルの構築
第4回	My Little Brother	グループチェンジ。勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第5回	雪の華	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。 細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

クォーター末試験評価方法

試験ライブにも慣れて来たと思われるので、更にバンドとしての特徴を際立たせるポイントをディスカッションし、そこを前面に出し「魅せるステージング」を目指します。
 暗譜推奨！全員がアイコンタクト取ってプレイ出来るよう努力しましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Sined sealed delivered I'm yours	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。
第2回	Starburst	勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第3回	Every step of your way	ダイナミクスビルドアップ、16th beatのセクションプレイ。
第4回	I need to be in love	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第5回	Why Not	難解なセクションプレイ、全員のユニゾン。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。 細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

1年間の集大成と言える最終クォーターの試験ライブに向けて、これまでで一番のパフォーマンスが出来る様、しっかりと何度もリハーサルをします。アドリブソロに向けて各自が理論を把握し、アナライズ・コードスケールの把握をしっかり出来ているかチェックします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	須田晶子

科目概要

アンサンブルの基礎をじっくり研究していくクラスです。ベーシックなリズム、ビート、メロディ、コード、構成を主に学び、色々な曲を演奏しながら学んでいきましょう。他の楽器と演奏するとどのようなことが変わってくるのか、アンサンブルで大切なことを一緒に見つけていきます。
※曲は変更になる場合があります。

到達目標

それぞれの楽器の技術向上はもちろん、アンサンブルをすることで一人で演奏しているときとは違う自分の役割、バランス、自分の音と人の音を聴く習慣、そして一曲の演奏の流れをみんなで作れるようにします。チームワークの大切さを体感します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音出し/バランス	全員で音を出した時の音量バランスを確認し、アンサンブルのサウンドに慣れます。基本的なバランスが作れたら曲を通してリズム、構成などを確認します。曲:C Jam Blues
第2回	Mid Swing /カウント・エンディング	Swingのリズムを基本に曲が始まり終わるまでの合図などをAABAの曲で練習します。曲:A Train / Autumn Leaves
第3回	Bossa Nova・Samba	Bossa Novaの基本的なフィールに慣れます。テーマからソロ、ソロからテーマに戻る時などの切り替えのメリハリを付けることにフォーカスして練習します。曲:So Danco Samba / Fly Me To The Moon
第4回	リズムの混合	新たにLatinのリズムを加え曲の中でフィールを切り替える練習をします。曲: St. Thomas / On Green Dolphin Street / Night And Day
第5回	Fast Swing	速いテンポに慣れる練習です。テンポキープはもちろん、速いことで混乱する要素を取り上げていきます。曲: Oleo / I Got Rhythm / Mr.P.C
第6回	テストに向けての準備	今までやった曲を主に演奏し、より音楽的になるよう作り上げていきます。テスト曲を決めショートしてのステージングも考えます。
第7回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽興を演奏していただきます。

クォーター末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Waltz・6/8	他のフィールとの違いを確認しながらリズムに慣れる練習をします。曲:Someday My Prince Will Come / All Blues / Foot Prints
第2回	Ballad	空間があるだけテンポ、バスの捉え方が難しいバラードをSwingとStraightの違いと共に練習します。曲:Body And Soul / Moon River
第3回	Funk	Funkスタンダードを身につける練習です。キメもある楽曲が多いので色んな要素の練習になります。曲:The Chicken / Feel Like Making Love
第4回	キメのある曲	ストップタイム、ブレイク、リフ、など曲の中で決められているものに対応する練習です。曲: Speak Low / Lullaby Of Birdland / One Note Samba / Rhythm-a-Ning / Straighten Up & Fly Right
第5回	キメのある曲	ストップタイム、ブレイク、リフ、など曲の中で決められているものに対応する練習です。曲: Speak Low / Lullaby Of Birdland / One Note Samba / Rhythm-a-Ning / Straighten Up & Fly Right
第6回	編成の変化や曲の構成で遊ぶ	色んな楽器編成のパターンで演奏してどのような変化が自分の演奏に起こるのかをより深く研究します。
第7回	テストに向けての準備	今までやった曲を主に演奏し、より音楽的になるよう作り上げていきます。テスト曲を決めショートしてのステージングも考えます。
第8回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽興を演奏していただきます。

学期末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボ IV	須田晶子

科目概要

秋期では少し難易度を上げた曲に挑戦します。アンサンブルの技術、ステージングを意識した内容、セットリストを効果的に演奏する方法にも取り組んでいきます。それぞれがアイデアを出して想像力を高めチャレンジします。
※曲は変更になる場合があります。

到達目標

色んな曲を経験することで瞬時に対応できるようにし、完成度のより高い演奏ができるようになります。そしてあらゆるバランスを学びながらも自分のキャラクターや嗜好は何かを見つけ出せるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Blues	リズム楽器と自由度の高いBluesメロディをとる楽器がそれぞれの役割を發揮するのがBluesです。その中でいかにカッコ良くグループが出せるか研究します。曲: Georgia On My Mind
第2回	ラフアレンジ	いくつか曲を選びその曲をその場でアイデアを出し合い構成のアレンジをしていく練習です。必要があれば色んなアーティストの演奏を聴いてみます。曲: Summer Time / Stella By Starlight / Over The Rainbow
第3回	選曲	皆さんがそれぞれ好きなジャズのナンバー、もしくはジャズに関係しているサウンドの曲をそれぞれピックアップして演奏してみます。
第4回	選曲	ピックアップした曲をどんな風に演奏すると効果的かということの研究します。その中で自分の好きな事、得意な事苦手な事を明確にできるようにします。
第5回	Rubato	インストの演奏でもくり広がることのあるRubatoにフォーカスして練習します。違うフィールからRubato、Rubatoから違うフィールへ移行する時方法を確認します。曲: There Will Never Be Another You / All The Things You Are
第6回	テストに向けての準備	今までやった曲を主に演奏し、より音楽的になるよう作り上げていきます。テスト曲を決めショートしてのステージングも考えます。
第7回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽興を演奏していただきます。

クォーター末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができていないか、苦手な事に対してそれぞれ少しでも改善しようとしている努力が見られるか、ライブとして意識したステージができていないかを見ます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	トリッキーなリフ	メロディの中にはトリッキーなリフが演奏される曲があります。それに対する対応力を身につけます。曲: Interplay / Spain / Night In Tunisia
第2回	Comtemporary Jazz	Jazzの歴史から見てわりと近年に作られた楽曲を演奏してみます。同じフィールでもサウンドは何が違うのかなど色んな方向から研究してみます。曲: Country / My Song / Butterfly
第3回	変拍子	変拍子に挑戦です。5拍子、7拍子、色んな拍子が混合された楽曲を主に練習します。曲: Take Five, Summer Time, Blackbird
第4回	歌伴奏	歌伴奏に挑戦します。インストの演奏と共通している部分はたくさんありますが少し応用した要素が必要になります。歌伴奏ならではの知識を増やします。曲: Someone To Watch Over Me / Autumn Leaves
第5回	アレンジ	リフ、構成、編成、リズム、オブリガード、自分ならではのアイデアでできる範囲でアレンジします。この授業は前もってアレンジをしてもらい演奏します。
第6回	ライブに向けての準備	選曲、演奏の内容を整理しステージングも含めライブの準備をします。
第7回	ライブに向けての準備	選曲、演奏の内容を整理しステージングも含めライブの準備をします。
第8回	試験	クラス外でのライブを行います。今までの成果、そしてリスナーがいる中での演奏の感覚、ステージングなど体験します。

学期末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができていないか、ライブとして意識したステージができていないかを見ます。最後の試験でパッションを感じる音でリスナーを魅了できるステージを目指しましょう！

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	関谷友貴

科目概要

ジャズのスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションに必要な会話力を磨きます。

到達目標

セッションでよく演奏する定番のジャズスタンダードを10曲暗譜で演奏出来るようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション&セッションマナー	授業の方向性と、一発モノのグルーブセッションでアイコンタクトなどのセッションに必要なマナーを伝えます。
第2回	ジャズブルース	ツーファイブを含めたFやBbのジャズブルースを、Straight No Chaserなどの曲を題材に使ってセッションします。
第3回	リズムチェンジ	A-A-B-Aで構成されているOLEOなどの曲を題材に使ってセッションします。
第4回	8ビート	Watermelon Manなどの8ビートの曲を題材に使って、スウィングとのビートの違いを感じながらセッションします。
第5回	16ビート	The Chickenなどの16ビートの曲を題材に使って、8ビートとの違いを感じながらセッションします。
第6回	ボサノヴァ	Blue Bossaなどのボサノヴァの曲を題材に使って、これまでに演奏した曲とグルーブの違いを感じながらセッションします。
第7回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	シャッフル	Isn't She Lovelyなどの曲を題材に使って、3連譜を感じながらセッションします。
第2回	モーダル1	Cantalope Islandなどの曲を題材に使って、コードに適したスケールを使ってセッションします。
第3回	マイナーブルース	Mr.P.Cなどの曲を題材に使って、マイナーブルースをセッションします。
第4回	3拍子	Someday Prince Will Comeなどの曲を題材に使って、3拍子でスウィングを感じながらセッションします。
第5回	モーダル2	So Whatなどの曲を題材に使って、A-A-B-Aフォームを感じてセッションします。
第6回	夏休み課題確認&復習	夏休み前に出した課題を確認してテストに備えます。
第7回	バラード	Georgia on My Mindなどの曲を題材に使って、バラードで演奏するときに必要なアイデアを提示しながら、セッションします。
第8回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボⅣ	関谷友貴

科目概要

ジャズのスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションに必要な会話力を磨きます。

到達目標

セッションでよく演奏する定番のジャズスタンダードを10曲暗譜で演奏出来るようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	グルーブチェンジ	これまでに取り扱った曲を使って、曲をファンクにするなどグルーブを変えてセッションします。
第2回	ファンク	Pick Up The Piecesなどの曲を題材に使って、グルーブを感じながらセッションします。
第3回	ラテンフュージョン	Spainなどの曲を題材に使って、キメをしっかりと合わせつつセッションします。
第4回	ストレート8th	Maiden Voyageなどの曲を題材に使って、ストレート8thをセッションします。
第5回	ヘッドアレンジ	これまで取り扱った曲のテーマ部分にキメやハモリ、リハモなどをしてアレンジします。
第6回	テスト対策	これまで取り扱った曲を復習、暗譜でセッションしテストに備えます。
第7回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	転調	All The Things You Areなどの曲を題材に使って、曲の中で頻繁に転調されている曲をセッションします。
第2回	ビバップ	Donna Leeなどの曲を題材に使って、難解なテーマをしっかりと演奏してセッションします。
第3回	変拍子	Take Fiveなどの曲を題材に使って、5拍子を感じながらセッションします。
第4回	フィールチェンジ	On Green Dolphin St.などの曲を題材に使って、曲の中で変更されるフィールチェンジをセッションします。
第5回	ユニゾン	Red Baronなどの曲を題材に使って、複雑なテーマをしっかりと演奏してセッションします。
第6回	マルチトニック	Giant Stepsなどの曲を題材に使って、マルチトニックシステムで作曲された曲をセッションします。
第7回	テスト対策	これまで取り扱った曲を復習、暗譜でセッションしテストに備えます。
第8回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	高野正一

科目概要

ジャムセッション力を養う。各ジャンルの代表的な曲をレパートリーにできるように学習、訓練し演奏技術力も上げ即興演奏能力を養う。

到達目標

曲の理解、時代背景、もっともポピュラーなバージョン等曲の知識を学びMC能力を養う。即興演奏力・技術の向上、楽曲の理解、譜面の作成。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	セッションとは？	ブルース等で楽曲構成を理解させる。
第2回	セッションに慣れる ウォータメロンマン	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング、 ・アイコンタクト
第3回	コンピング ビリーズ・バウンス	・アドリブ ブルーノートの学習
第4回	ブルース進行の曲	・アドリブ ブルーノートの学習 C・F・B♭キー
第5回	スタンダード曲の演奏 A列車で行こう	・I Δ7- II 7- II m7- V7 の楽曲 イパネマの娘
第6回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	2NDリフの挿入、楽曲の盛り上げ方
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー

クォーター末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ボサノバ	2NDリフの挿入、楽曲の盛り上げ方
第2回	ボサノバ マイナーの曲	アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第3回	ボサノバ ブルーボサ	倍テンポ、 アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第4回	サンバ ブルーボサ	・I m7-IV m7 ・II m7- V7のフレーズの学習
第5回	ファンク チキン	・I 7-IV 7- III 7 キメの部分の確認
第6回	8ビート・16ビート	グルーブ感
第7回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	構成・ソロ順番等の確認
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー

学期末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボIV	高野正一

科目概要

ジャムセッション力を養う。各ジャンルの代表的な曲をレパートリーにできるように学習、訓練し演奏技術力も上げ即興演奏能力を養う。

到達目標

曲の理解、時代背景、もっともポピュラーなバージョン等曲の知識を学びMC能力を養う。即興演奏力・技術の向上、楽曲の理解、譜面の作成。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	シャッフル イズント シーラブリー	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第2回	シャッフル イズント シーラブリー	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング、 ・アイコンタクト
第3回	シャッフル イズント シーラブリー	・アドリブ アベイラブルノートスケールの学習 VI m7 - II 7 - II m7 V 7 - I Δ 7
第4回	8ビート・16ビート サニー	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第5回	8ビート・16ビート サニー	・ I m7 - b III 7 - b VI 7 - II m7 b 5 V 7 の楽曲
第6回	8ビート・16ビート サニー	・楽曲の盛り上げ方
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー、反省

クォーター末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4ビート サテンドール	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第2回	4ビート サテンドール	・イントロ テーマ アドリブ 2ndテーマリフ エンディング
第3回	酒とバラの日々	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第4回	酒とバラの日々	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング
第5回	4ビート 枯葉	・平行調 II m7 - V 7 - I Δ 7 - IV Δ 7 II m7 b 5 - V 7 - I m7
第6回	4ビート コンファメーション	・イントロ テーマ アドリブ 2ndテーマリフ 4バース エンディング
第7回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	構成・ソロ順番等の確認
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー 自己反省

学期末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	寺屋ナオ

科目概要

小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。曲目は例です。

到達目標

シンプルな楽曲を使って、セッションに慣れるのが1Qの目標です。2Qは様々なリズムスタイルの要素を取り入れるようになるのが目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	セッションの基本ルール	Bluesを題材に、セッションの基本的な演奏法を学びます。
第2回	ブルース1	Watermelon manなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
第3回	ブルース2	Chitlins con Carneなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
第4回	変則ブルース1	The sidwinderなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
第5回	変則ブルース2	The chickenなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
第6回	リハーサル	実技試験に向けてのリハーサルを行います。
第7回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を行います。

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	様々なリズムスタイルの楽曲1	Back at the chicken shackなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。
第2回	様々なリズムスタイルの楽曲2	Isn't she lovelyなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。
第3回	様々なリズムスタイルの楽曲3	Now's the timeなどを題材に、Swingのリズムの楽曲を練習します。
第4回	様々なリズムスタイルの楽曲4	Sugarなどの楽曲を題材に、Swingのリズムの楽曲を練習します。
第5回	様々なリズムスタイルの楽曲5	Blue bossaなどを題材に、ボサノバのリズムの楽曲を練習します。
第6回	様々なリズムスタイルの楽曲6	オルフェのサンバなどを題材に、サンバのリズムの楽曲を練習します。
第7回	リハーサル	実技試験に向けてのリハーサルを行います。
第8回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を行います。

学期末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボIV	寺屋ナオ

科目概要

小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。曲目は例です。

到達目標

3Qはスタンダードソングで、イントロやエンディングなどを含めてスムーズにセッションできるようになる事が目標です。4Qは、より難易度の高い曲をセッションできるようになる事が目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	スタンダード1	I'll close my eyesなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第2回	スタンダード2	It could happen to youなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第3回	スタンダード3	Alone togetherなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第4回	イントロとエンディング1	スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
第5回	イントロとエンディング2	スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
第6回	リハーサル	実技試験に向けてリハーサルを行います。
第7回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式での実技試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bebop1	Confirmationなどの楽曲を題材に、Bebop楽曲のセッションを練習します。
第2回	Bebop2	Donna leeなどの楽曲を題材に、Bebop楽曲のセッションを練習します。
第3回	Cool Jazz	Israelなどの楽曲を題材に、Modan Jazz楽曲のセッションを練習します。
第4回	Mode Jazz	So whatなどの楽曲を題材に、Mode Jazz楽曲のセッションを練習します。
第5回	Jazz funk	Strasbourg saint denisなどの楽曲を題材に、Jazz funk楽曲のセッションを練習します。
第6回	Hard bop	Nica's dreamなどの楽曲を題材に、Hard bop楽曲のセッションを練習します。
第7回	リハーサル	実技試験に向けてリハーサルを行います。
第8回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を実施します。

学期末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	藤本暁子

科目概要

ジャズのスタンダードを中心に、クラス全員でセッションをします。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます。

到達目標

一人一人が自分の楽器に向き合い、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第2回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第3回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第4回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第5回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第6回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第7回	試験	クラス全員で発表する。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第2回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第3回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第4回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第5回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第6回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第7回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第8回	試験	クラス全員で発表する。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボIV	藤本暁子

科目概要

ジャズのスタンダードを中心に、クラス全員でセッションをします。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます。

到達目標

一人一人が自分の楽器に向き合い、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第2回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第3回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第4回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第5回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第6回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第7回	試験	クラス全員で発表する。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第2回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第3回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第4回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第5回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第6回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第7回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第8回	試験	クラス全員で発表する。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	松永加津子

科目概要

3～4リズムと管楽器で、いつでもどこに行っても、すぐに誰とでもジャムセッションができるように、いろいろなスタンダードナンバーを知り、テーマをしっかりと演奏出来て、アドリブも取れるようになるための授業です。

到達目標

はじめに、Toneをしっかりさせる練習をします。管楽器はロングトーン、リズムは一つ一つの音をしっかりと出す練習を繰り返し行います。曲はまずブルース。いろいろなキーで、いろいろなビートで、ブルース形式の曲を覚えましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	発音練習とブルース。	授業の最初に、必ずブルースでロングトーンとリズム練習をします。ブルースに慣れていきます。
第2回	ブルース形式の曲とは	ブルースのコード進行を覚えてしまいましょう。ほとんどのブルースはコード進行は同じです。
第3回	いろいろなキーのブルース	C、F、B♭キーのブルースのコード進行は暗譜しましょう。8分音符の練習もします。
第4回	いろいろなビートのブルース	スウィングの他に、シャッフルやスローピーとなりのブルースにもチャレンジ。
第5回	スタンダードナンバーとブルース	同じキーでも、たくさんスタンダードナンバーとしてのブルースがあります。いろいろなキーのブルースを練習します。
第6回	スタンダードナンバーとブルース	試験に向けて、練習してきたブルースやスタンダードナンバーを仕上げていきます。
第7回	テーマとアドリブ	課題曲のテーマとアドリブ、のびのびとしっかり演奏しましょう。

クォーター末試験評価方法

テーマがちゃんと演奏出来ているか、アドリブにチャレンジ出来たか、そして、今クォーターで練習してきた、いいToneで、いいノリのビートで、のびのびと演奏しているかを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基本のブルース	このクラスは徹底的にブルースを演奏して、基礎力をつけていきます。繰り返し、8分のノリを練習。
第2回	ビバップのスタンダードナンバー	様々なスタンダードナンバーを演奏していきます。演奏する前に、まず、名曲を聴きます。
第3回	バップの名曲を知る	ブルースでロングトーン、8分ノリの練習をした後は、スタンダードナンバーをどんどん演奏していきます。
第4回	4ビートのリズムとは	8分ノリは、曲のテンポによって変わってきます。速い曲、ミディアム、スローと、いろいろなテンポでチャレンジです。
第5回	スタンダードナンバー	同じ曲でも、ビートによって演奏の仕方が変わります。4ビートスウィングだけでなく、ボサノバやサンバでも演奏してみます。
第6回	スタンダードナンバー	試験で演奏する曲を、みんなで決めます。どんな曲を演奏したいか、どのように演奏したいか、考えましょう。
第7回	スタンダードナンバーとブルース	みんなで決めた曲のテーマとアドリブ、繰り返し、しっかり練習しましょう。
第8回	テーマとアドリブ	テーマをしっかりと演奏し、アドリブにもチャレンジ！元気にのびのび演奏してください。

学期末試験評価方法

スタンダードナンバーを演奏する時は、とにかくテーマをきっちり演奏することが大切です。テーマがちゃんと演奏出来ているか、そして、アドリブをのびのび楽しく演奏しているかを採点します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボIV	松永加津子

科目概要

テーマをしっかりと演奏することによりかなり慣れてきたことと思います。今度はどうやってもっとかっこ良くアドリブ演奏できるか考えていきます。イントロ、エンディングの持っていく方も勉強していき、セッションで楽しく演奏する力をつけていきます。

到達目標

かっこいいアドリブ演奏するための近道はありません。が、世の中にはたくさんのお名演奏が残されています。あなたのジャズのアイドルは誰ですか？是非コピーしてください。この授業では、コピーのやり方を学び、そして演奏への反映の仕方にチャレンジします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムチェンジ	ジャズの基本曲、ブルースの他にリズムチェンジの基本を知りましょう。
第2回	リズムチェンジのコード進行	リズムチェンジの曲も、ほぼコード進行は同じです。コードは暗記してしまいましょう。
第3回	いろいろなリズムチェンジの名曲	リズムチェンジの名曲も、知っておいたほうが良い曲がたくさんあります。サビ部分の違いを知りましょう。
第4回	マイナーブルース	ブルースには、メジャーとマイナーの曲があります。今回はマイナーブルースのコード進行を覚えましょう。
第5回	マイナーブルースの名曲	名曲を知ることはとても大切です。マイナーの曲はけっこう取り組みやすいかも。たくさん演奏しましょう。
第6回	試験曲の練習	試験曲の練習を何度も繰り返して暗記します。アドリブもしっかりやりましょうね。
第7回	イントロやエンディング	選んだ曲をしっかりと演奏しましょう。

クォーター末試験評価方法

カウント、イントロ、テーマ、アドリブ、4～8バース、テーマ、エンディングと、一曲をしっかりと演奏できているかをチェックします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	バップ チャーリーパーカー	スタンダードナンバーを、作曲家別に研究してみましょう。かっこいい箇所を1フレーズコピーしてみましょう。
第2回	バップ デイジーガレスピー	フレーズのコピーをどんどんしていきましょう。たくさんコピーして、アドリブのここぞというときに使ってみましょう。
第3回	ヘンリーマンシーニなど	コールポーターやガーシュインやエリントンやなどなど、スタンダードナンバーを知り、フレーズコピーもしましょう。
第4回	ホレスシルバー	少し難しい曲にもチャレンジ！テーマを覚えて演奏すること自体が、フレーズとして使えることを知りましょう。
第5回	曲決め	様々なスタンダードナンバーの中から、演奏したい曲を決め、みんなはどう演奏するか相談して決めます。
第6回	試験曲の練習	まず、テーマを暗記すること。ソロはできれば自由に演奏したいところですが、考えて決めてもいいです。
第7回	試験曲の練習	繰り返し練習。練習中に、いろんなフレーズやビートを思考錯誤してチャレンジしてみてください。
第8回	総合的な演奏	選んだ曲をしっかりと演奏しましょう。

学期末試験評価方法

セッションとして成り立つ演奏ができたか、テーマ、アドリブ、イントロ、エンディング、そして何より、仲間と一緒に、楽しんで演奏できたかどうかをチェックします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	宮本裕史

科目概要

ジャムセッションに必要な知識と技術を短期間で吸収し、並行して即興主体のジャズアンサンブルに於いて必要とされる様々な技法や常識を学んでいきます。また、専攻実技や各授業で得た知識や技術を試す一番身近な実験の場としての役割も大切にしながら進行していきます。

到達目標

春学期はクラス内での音楽的基礎知識を共有することに重点を置きます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズアンサンブルの基礎知識1	各楽器の役割や一般的なジャズアンサンブルでの曲の構成について解説。共通の認識を増やします。
第2回	鑑賞と模倣1	前回の解説と照らし合わせながら過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習1	簡単な和音進行の曲でソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習1	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習をします。
第5回	アドリブ中の各楽器の練習2	第3回の延長。また、第7回の日に行う試験曲を決め、その際の方針を相談し合います。
第6回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第7回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

クォーター末試験評価方法

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣2	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習3	各楽器の役割、ソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習2	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に授業します。
第5回	様々なテンポの練習	バラード以外の全テンポを経験。また夏休み前に各生徒の課題(宿題ではない)を告げそれぞれの攻略方法を考えます。
第6回	夏休み明けの進歩確認	長期休暇中にどれだけ復習できたかを確認します。
第7回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第8回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

学期末試験評価方法

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボIV	宮本裕史

科目概要

秋学期は応用力の向上を目指します。知識や技法の転用範囲を意識的に押し広げます。

到達目標

創造的な選択を演奏中に常に意識できるだけの余裕獲得を目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣3	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習4	各楽器個別の課題を決めアンサンブルを通してそれを解決する反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習3	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に進行します。
第5回	ダイナミクス	抑制が利き、十分に間(ま)を取った静かな演奏と、爆発的な激しい演奏の双方の研究をします。
第6回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第7回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

クォーター末試験評価方法

下級生・上級生ともに上達度合を重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣4	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	違うリズム	ラテンやブラジル音楽、ファンクなどのリズム、または3拍子などを演奏し、今までの学習からの応用を試します。
第4回	冬休み明けの進歩確認	アンサンブルにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第5回	情報交換会	学外のジャムセッションや音楽活動経験など、各生徒が体験した情報を共有。講師が経験したエピソードも披露します。
第6回	アドリブ中の各楽器の練習5	各楽器個別の課題を決め、様々な曲の合奏を通してそれを解決する反復練習をします。
第7回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第8回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

学期末試験評価方法

下級生・上級生ともにアンサンブルに対する意識の深さ、そして以前からの上達度合を重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンボⅢ	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。

到達目標

題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Watermelon man , Now 's the time	ブルージーな曲を題材にして、ブルースフィーリング、スウィングを体現します。また周りの音を聞く事を学びます。
第2回	Work song, Summertime	比較的ブルージーな曲を題材にして、ダイアトニックコード以外のコードを学びます。また定番のキックを学びます。
第3回	Days of wine&roses, St.thomas	転調が含まれるコードチェンジを学びます。また、カリブソのリズムでジャムセッションを体現します。
第4回	Autumn Leaves,Girl From Ipanema	メジャー、マイナーⅡ-Vが含まれる曲を題材に学びます。またBossa Novaのリズムを体現します。
第5回	Bye bye blackbird,Cantaloupe Island	スウィング、16beatのフィールを体現します。また様々なイントロ、エンディングを学びます。
第6回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第7回	試験	約20分間で2~3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

クォーター末試験評価方法

演奏内容(スムーズにメロディ、良いソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話が成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	On green dolphin street, A Night in Tunisia	リズムのチェンジ(ラテン~スウィング等)を行いながらジャムセッションを体現します。定番のキックも学びます。
第2回	You 'd be so nice to come home to, On the sunny side of the street	音色の良さやニュアンスについて考え、レイドバックなどを体現します。良いタイムやフィールについて学びます。
第3回	There will never be another you It could happen to you, Confirmation	歌物のスタンダードナンバーとビバップのナンバーのメロディの歌い方や、ソロの取り方などを学び、体現します。
第4回	Yardbird suite, I remember April	ビバップのナンバーの定番のキックを学びます。またリズムのチェンジ(ラテン~スウィング等)を体現します。
第5回	So what, My one&only love	モード(ドリアン)でのソロの取り方を学びます。またジャズ・バラードのフィールについて学び、体現します。
第6回	Joy spring , Softly,as in a morning sunrise	コードチェンジが細かく転調が多い曲と、反対に転調が少なく同じコードが続く曲を学び、体現します。
第7回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第8回	試験	約20分間で2~3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

学期末試験評価方法

演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話が成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンボⅣ	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。

到達目標

題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Oleo, Good bait	リズムチェンジ(循環コード)の曲を題材にして学びます。それぞれの曲が持つテンポ感を大事にしてソロを体現します。
第2回	But not for me, Love for sale	Ⅱ7から始まる曲のイントロの出し方を学びます。また、どうしてⅡ7から初まる曲に変化したのかを学びます。
第3回	Star eyes, The shadow of your smile	Ⅱ7から始まる曲の音使いや、イントロを学びます。またリズムのチェンジ(ラテン～スウィング等)を体現します。
第4回	Seven steps to heaven, In a sentimental mood	早いスウィングを学び、体現します。また定番のキックや、イレギュラーなコード進行を学び、体現します。
第5回	I'll close my eyes, If I should lose you	メジャー、マイナーKeyの歌物のスタンダードナンバーのメロディの歌い方、ソロの取り方を学びます。
第6回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第7回	試験	約20分間で2～3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

クォーター末試験評価方法

演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話が成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Blue monk, Hove you met miss Jones	ブルージーな音使い、レイドバック、スウィングフィールを学び、体現します。また良い音色について考え、学びます。
第2回	Speak low, I remember you	リズムのチェンジ(ラテン～スウィング等)を行いながらジャムセッションを体現します。定番のキックも学びます。
第3回	Candy, Caravan	7thコードや、サブドミナントでの様々なアプローチについて学びます。早いテンポでラテン～スウィングを体現します。
第4回	Ornithology, Body&soul	替え歌(元曲How high the moon)について学びます。またジャズ・バラードのフィールを体現します。
第5回	Bolivia, Stable mates, Along came betty	Benny golsonの名曲を題材にして、コード進行を分析します。コンテンポラリーなサウンドを体現します。
第6回	Moment's notice, Tell me a bedtime story	John Coltrane, Herbie Hancockの名曲を題材にして、コード進行を学び、セッションをして体現します。
第7回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第8回	試験	約20分間で2～3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

学期末試験評価方法

演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、人を惹きつける演奏をしていること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンポーシングⅢ	久保田浩之

科目概要

1年次生で学んだモチーフディベロップメントを基本に、より自由で発展的な作曲手法を学び実践していきます。個々のジャンルやスタイル固有のコード進行やグルーブ、メロディーの構築の仕方を分析・研究しながら自身の作品に反映していく手法を学びます。

到達目標

各テーマに沿った楽曲が創作できるように、各スタイル、ジャンル固有の音楽的特徴や背景への理解を深め作品に反映させていきましょう。普段から様々な楽曲の成り立ちを分析し、曲作りのイメージを膨らませ、もの作りが日常にあるクリエイティブなマインドを持ちましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス・JAZZ FUNK曲1	本科目の概説・JAZZ FUNK曲のアーティスト研究と楽曲分析
第2回	JAZZ FUNK曲2	スタイルとそのバリエーション&サウンド
第3回	JAZZ FUNK曲3	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第4回	JAZZY HIP-HOP./R&B曲1	JAZZY HIP-HOP/R&B曲のアーティスト研究と楽曲分析
第5回	JAZZY HIP-HOP./R&B曲2	スタイルとそのバリエーション&サウンド
第6回	JAZZY HIP-HOP./R&B曲3	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第7回	優秀作品紹介 & 品評会セッション	提出作品の中から優秀作品を紹介しセッション

クォーター末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%
 授業態度と積極性 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bossa Nova/Samba曲1	Bossa Nova/Samba曲のアーティスト研究・楽曲分析
第2回	bossa Nova/Samba曲2	スタイルとそのバリエーション&サウンド
第3回	bossa Nova/Samba曲3	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第4回	Be-Bop曲1	Be-Bop曲のアーティスト研究・楽曲分析
第5回	Be-Bop曲2	Be-bopテーマを作る上で知っておくべきポイント
第6回	Be-Bop曲3	スタイルとそのバリエーション&サウンド
第7回	Be-Bop曲4	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第8回	優秀作品紹介 & 品評会セッション	提出作品の中から優秀作品を紹介しセッション

学期末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%
 授業態度と積極性 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンポージングⅣ	久保田浩之

科目概要

個々のジャンルやスタイル固有のコード進行やグルーブ、メロディーの構築の仕方を分析・研究しながら自身の作品に反映していく手法を学びます。アレンジに役立つ様々な手法や、現代的かつ感覚的・直感的なトラックメイキングによる作曲法まで幅広く紹介します。

到達目標

各テーマに沿った楽曲が創作できるように、各スタイル、ジャンル固有の音楽的特徴や背景への理解を深め作品に反映させていきましょう。普段から様々な楽曲の成り立ちを分析し、曲作りのイメージを膨らませ、もの作りが日常にあるクリエイティブなマインドを持ちましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Latin-Swingグルーブスイッチ曲1	代表曲の紹介・アーティストの演奏&楽曲分析
第2回	Latin-Swingグルーブスイッチ曲2	スタイルとそのバリエーション&作曲上の注意点
第3回	Latin-Swingグルーブスイッチ曲3	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第4回	JAZZ WALTZ曲1	代表曲の紹介・アーティストの演奏&楽曲分析
第5回	JAZZ WALTZ曲2	スタイルとそのバリエーション&作曲上の注意点
第6回	JAZZ WALTZ曲3	楽曲制作デモンストレーション・作品課題提示
第7回	優秀作品紹介&品評会セッション	提出作品の中から優秀作品を紹介しセッション

クォーター末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%
 授業態度と積極性 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ストリングス・ホーンアレンジ入門1	楽器編成とそのレンジ・各楽器の記譜法
第2回	ストリングス・ホーンアレンジ入門2	効果的なボイスイング・作品研究&分析
第3回	ロバートグラスパーススタイルの研究	サウンドの特徴・ハーモニーやグルーブの特徴・作品鑑賞
第4回	リハーモナイズ研究	カバーアレンジにおけるリハモの可能性とその魅力
第5回	サンプリング・トラックメイキング	サウンドデザイナー・トラックメイカー的な作曲技法
第6回	講師作品紹介と解説	講師の様々な作品を紹介しその曲ができた背景と作曲術を解説
第7回	自由課題提出のための準備	作品提出に向けた仕上げに必要なアドバイスなど
第8回	優秀作品紹介&品評会セッション	提出された作品の中から優秀作品を選びセッションします

学期末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%
 授業態度と積極性 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	セオリー&パフォーマンスⅢ(オリジナルアンサンブルⅠ)	久保田浩之

科目概要

コンポーシングの授業で作曲したオリジナル楽曲を自分たちで演奏し、レコーディングしてオリジナル作品を制作するために必要な様々なスキルとノウハウを学びます。プリプロダクションを重ねながら楽曲と演奏を磨き上げ、いかに「伝わる」音源作品にまとめあげるかを学びます。

到達目標

プリプロダクションでオリジナル楽曲を磨きながら同時にデモ音源も制作しそのクオリティーを上げていきます。その楽曲の魅力を最大限に引き出すためのアレンジ・演奏・レコーディングの方向性をチームで見つけ出しながらクリエイターとプレイヤーの両立を目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス・デモンストレーション1	授業の概要の説明。課題曲を元にプリプロの流れを実演します
第2回	デモンストレーション2	課題曲を元にプリプロとデモ音源制作の流れを実演します
第3回	デモンストレーション3	レコーディング本番を想定したデモ音源制作の実演します
第4回	オリジナル楽曲選定・プリプロ1	持ち寄ったオリジナル曲を演奏しチームごとに曲を選定します
第5回	プリプロ2・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第6回	プリプロ3・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第7回	デモ音源仕上げ・試聴会	各曲のデモ音源を試聴しプリプロの流れを総括します

クォーター末試験評価方法

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた)デモ音源のクオリティー 40%
 プリプロへの貢献度 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリジナル楽曲選定・プリプロ1	持ち寄ったオリジナル曲を演奏しチームごとに曲を選定します
第2回	プリプロ2・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第3回	プリプロ3・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第4回	デモ音源仕上げ・試聴会	各曲のデモ音源を試聴しプリプロの流れを総括します
第5回	オリジナル楽曲選定・プリプロ1	持ち寄ったオリジナル曲を演奏しチームごとに曲を選定します
第6回	プリプロ2・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第7回	プリプロ3・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第8回	デモ音源仕上げ・試聴会	各曲のデモ音源を試聴しプリプロの流れを総括します

学期末試験評価方法

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた)デモ音源のクオリティー 40%
 プリプロへの貢献度 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	セオリー&パフォーマンスⅣ(オリジナルアンサンブルⅡ)	久保田浩之

科目概要

オリジナル作品をレコーディングすることを念頭にさらに新曲のプリプロを重ねていきます。楽曲のジャンルやタイプ別による様々なアレンジやレコーディング、ミックスの方法を紹介し、作編曲・演奏・レコーディング・ミックスの一連の流れを理解しながら作品制作を進めます。

到達目標

より効率の良いプリプロをする工夫を学び演奏技術、音楽的対応力の向上を目指します。簡単な音響工学や機材、ミックスの手法を学び参考音源から録音方法、機材、ミックスなどを分析することで、作品制作において楽曲に合ったベストの演奏と録音方法が選択ができるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音響工学入門・録音機材の基礎知識	楽器の音色と倍音、周波数帯域。代表的な録音機材とその役割
第2回	様々なレコーディング手法とミックス	マルチトラックREC、サンプリング、ライブレコーディング他
第3回	アレンジ・REC・MIX手法の分析	様々なヒットチューンや有名曲音源から音作りの秘策を学ぶ
第4回	オーバーダビングとコピー&ペースト	オーバーダブとコピーの効果的な使い方とその手法
第5回	オリジナル楽曲選定・プリプロ1	持ち寄ったオリジナル曲を演奏しチームごとに曲を選定します
第6回	プリプロ2・デモ音源制作	各曲のアレンジ・構成を確認しこの段階でのデモ音源を作ります
第7回	デモ音源試聴会・小テスト(筆記)	音響工学とレコーディング機材、手法の理解度をテスト

クォーター末試験評価方法

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた)デモ音源のクオリティー 40%
 期末小テスト(筆記)結果 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	レコーディング楽曲のプリプロ1	リハを重ねて演奏のクオリティーを高めます
第2回	レコーディング楽曲のプリプロ2	リハを重ねて演奏のクオリティーを高めます
第3回	最終確認と打ち合わせ	アレンジ、録音方法等の確認と段取りの最終打ち合わせ
第4回	レコーディング音源試聴・品評会	音源を聴きながら寸評や反省・今後のアドバイス
第5回	ライブのためのプリプロ1	レコーディングされたオリジナル曲をライブアレンジする手法
第6回	ライブのためのプリプロ2	オリジナル曲をライブでよりよく聞かせる工夫
第7回	リハーサル	ライブ試験に向けたリハーサル
第8回	ライブ試験	この授業で取り組んだオリジナル楽曲をライブ形式で披露

学期末試験評価方法

レコーディング作品のクオリティー 40%
 ライブ試験の評価 30%
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズ・ポピュラー概論Ⅲ	高野正一

科目概要

ジャズ・ポップスの歴史を学ぶ ジャンルの研究・ヒットした楽曲の曲の研究・解明。主に曲主語、楽器主語で解説。有名、定番アーティストの音、映像を交えジャズ・ポップスの変遷を学ぶ。PUAはPick Up Artist(ピックアップ・アーティスト)の略

到達目標

ジャズの歴史・各楽器についてについての理解。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロックとジャズの違い	ジャズよりのロックバンド、ロックよりのジャズの名盤を聴く PUA: 展覧会の絵、EL&P “私の1枚”プレゼンテーション
第2回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く①	映画音楽編課題曲 マイ・フェアリット・ソングス 他 “私の1枚”プレゼンテーション
第3回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く②	売れたアルバム モーニン /アート・レイキー 他 “私の1枚”プレゼンテーション
第4回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く③	愛された曲バラード編 ジョージア・オン・マイ・マインド、スター・ダスト “私の1枚”プレゼンテーション
第5回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く④	セッション曲 インプレッション/ウェス・モンゴメリー、ギターの名演 “私の1枚”プレゼンテーション
第6回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑤	ラテン曲 キャラバン、ナイト・イン・チュニジア/D・ガレスピー “私の1枚”プレゼンテーション
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェアリットアーティストの紹介原稿の作成。

クォーター末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑥変拍子	PUA: デイブ・ブルーベック、マルサの女、ミッション・インポッシブル “私の1枚”プレゼンテーション
第2回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑦楽器	オルガンジャズ PUA: THE CAT /ジミー・スミス サマーサンバ/ワルター・ワンダレイ “私の1枚”プレゼンテーション
第3回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑧楽器	アコーディオン・ハーブ・PUA: マルセル・アズーラ “私の1枚”プレゼンテーション
第4回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑧Vib	ビブラフォン クラリネット PUA: ミルト・ジャクソン、ボビー・ハチャーソン “私の1枚”プレゼンテーション
第5回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑨Sds	スチールドラム フルート PUA: オセロ・モリノー、ハービー・マン “私の1枚”プレゼンテーション
第6回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑩Bass	ベース PUA: ザ・チキン/ジャコ・パストリアス ロン・カーター “私の1枚”プレゼンテーション
第7回	ジャズの名曲・名盤・名演を聴く⑪	ドラムス PUA: スティーブ・ガッド、ゴスペル。チョップについて “私の1枚”プレゼンテーション
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェアリットアーティストの紹介原稿の作成。

学期末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズ・ポピュラー概論Ⅳ	高野正一

科目概要

ジャズ・ポップスの歴史を学ぶ ジャンルの研究・ヒットした楽曲の曲の研究・解明。主に曲主語、楽器主語で解説。有名、定番アーティストの音、映像を交えジャズ・ポップスの変遷を学ぶ。PUAはPick Up Artist(ピックアップ・アーティスト)の略

到達目標

”私の1枚”プレゼン内容アーティストを紹介するプレゼン能力を養う。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	”私の1枚”プレゼンテーション	自分の好きなアーティストをどのように伝えるか？
第2回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介①	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第3回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介②	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第4回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介③	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第5回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介④	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第6回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介⑤	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報

クォーター末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介⑥	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第2回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介⑦	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第3回	ジャズの名曲・名盤・名演を紹介⑧	”私の1枚”プレゼンテーション 3名程度 現在の音楽情報
第4回	変わったジャズ	ウルトラマンジャズ、パイプオルガンジャズ 他レアな音源、珍しい映像をチェックする。
第5回	売れたジャズVO	PUA:エラ・イン・ベルリン エラ・フィッツジェラルド、ボカリーズについてマンハッタン・トランスフォア他
第6回	売れたジャズセッションの曲ベスト10	PUA:オスカー・ピーターソン、他
第7回	日本のジャズ	PUA:日野テルマサ、渡辺サダオ、”私の1枚”プレゼンテーション
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェバリットアーティストの紹介原稿の作成。

学期末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

ジャズポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセオリーⅢ	寺屋ナオ

科目概要

様々な楽曲の演奏、アレンジ、あるいは作曲へ応用出来るように、様々なコード進行を学びます。この授業ではKeyをCに固定し、様々なコード進行を紹介して行きます。

到達目標

1Qでは、メジャー及びマイナーキーのDiatonic chordの機能、及びSecondary dominantについて学びます。2QではDiatonicから離れるコードについて学んでいきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1年の復習と小テスト	1年の授業内容の理解度を測る為の試験をします。
第2回	Major keyのDiatonic chordとその機能	Major scaleから派生するコードとその機能を学びます。
第3回	Major keyのSecondary dominant	Major Keyで現れるSecondary Dominantを学びます。
第4回	Minor keyのDiatonic chordとその機能1	3つのMinor scaleから派生するコードとその機能を学びます。
第5回	Minor keyのDiatonic chordとその機能2	3つのMinor scaleから派生するコードとその機能を学びます。
第6回	Minor keyのSecondary dominant	Minor Keyで現れるSecondary Dominantを学びます。
第7回	筆記試験実施	1Qの授業内容を反映した問題で、筆記試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。筆記試験は1Qの授業を反映した内容で実施し、その点数で評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Substitute dominant	俗に言う「裏コード」SubV7について学びます。
第2回	Related IIIm7	Secondary Dominant及びSub V7に関連するIIIm7に着いて学びます。
第3回	Diminish chordを使った進行	Passing diminish等、Diminished chordを使ったコード進行について学びます。
第4回	Modal interchange	Subdominant minorに代表されるModal interchangeを使った進行を学びます。
第5回	sus4を使った進行	Isus4とVsus4を使った進行を学びます。
第6回	7thChordを使った様々な進行1	Extended Dominantを使った進行を学びます。
第7回	7thChordを使った様々な進行2	Bluesy 7th(I7、IV7、bVI7)を使った進行を学びます。
第8回	筆記試験実施	前期の授業内容を反映した問題で、筆記試験を実施します。

学期末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。筆記試験は前期の授業を統括した内容で実施し、その点数で評価します。

ジャズポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセオリーⅣ	寺屋ナオ

科目概要

3Qは和音と音階の関係性を学習します。4Qはスケールの中から派生する、上声部三和音(Upper Structure Triad)を学びます。

到達目標

3Qは和音と音階を関連した時に現れる、テンションノートやアボイドノートを理解するのが目標です。
4Qは上声部三和音(Upper structure triad)を使って、よりテンションノートを含むコードを理解するのが目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Interval(音程)とAvailable note scaleの考え方	音程について復習し、音階の設定の仕方を学びます。
第2回	MajorのDiatonic ChordのAvailable note scale	Major KeyのDiatonicコードに関連するスケールを学びます。
第3回	MinorのDiatonic ChordのAvailable note scale	Minor KeyのDiatonicコードに関連するスケールを学びます。
第4回	Secondary dominantのAvailable note scale	Secondary Dominantコードに関連するスケールを学びます。
第5回	Symmetric scale	Com-Dimスケール、Whole toneスケール、symmetrical augmentedスケールについて学びます。
第6回	調性に基づかないscaleの考え方	調性は関係なく、コードタイプ毎のスケールとの関わりを学びます。
第7回	筆記試験実施	3Qの授業内容を反映した問題で、筆記試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。筆記試験は3Qの授業を統括した内容で実施し、その点数で評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Upper structure triad(UST)について	スケール内の音の組み合わせによる上部三和音(Upper structure triad)について学びます。
第2回	Major7thに対応するスケールのUST	Major7thコードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第3回	Minor7thに対応するスケールのUST	Minor7コードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第4回	Minor6th M7thに対応するスケールのUST	Minor6th, Major7thコードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第5回	7thに対応するスケールのUST	7thコードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第6回	Minor7th(b5)に対応するスケールUST	Minor7th(b5)コードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第7回	Tonal harmonyとModal harmony	Minor7th(b5)コードに関連する様々なスケールのUpper structure triadを学びます。
第8回	筆記試験実施	一年間の授業内容を反映した問題で、筆記試験を実施します。

学期末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。筆記試験は一年間の授業を統括した内容で実施し、その点数で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	マルチトレーニング(Key) I	藤本暁子

科目概要

キーボード専攻以外の学生の為の授業です。春学期は7thまでの主要なコードの練習をしていきます。それぞれの進度に合わせて授業を進めていきます。授業には必ずヘッドホンを持参ください。授業内容のLesson ○は基礎練習課題です。

到達目標

それぞれのレベルの上(基本形 or 転回形)で、曲に合ったパターンで(白玉 or リズム)弾くことができるか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	C Major : I, IV, V & I, IV, V, VIIm	♪ : La Bamba (I, IV, V)、 ♪ : Stand by me (I, IV, V, VIIm) / Lesson 1 & 2
第2回	C Major : I, IV, V, VIIm	♪ : Let it be (I, IV, V, VIIm) / Lesson 1 & 2
第3回	C Major : Diatonic Chord	♪ : A Lover's Concerto / Lesson 3
第4回	C Major : Non Diatonic Chord	♪ : Piano man / Lesson 3
第5回	C Major : Non Diatonic Chord	♪ : You're the sunshine of my life / Lesson 3
第6回	試験	1Qで取り上げた曲の中から一曲演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、2Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Pops曲	♪ : Emotions (Mariah Carey) / Lesson 4
第2回	Pops曲	♪ : Emotions (Mariah Carey) / Lesson 4
第3回	Pops曲	♪ : Change the world (Eric Clapton) / Lesson 5
第4回	Pops曲	♪ : Change the world (Eric Clapton) / Lesson 5
第5回	Pops曲	♪ : Just the two of us (Grover Washington Jr.) / Lesson 6
第6回	Pops曲	♪ : Just the two of us (Grover Washington Jr.) / Lesson 6
第7回	試験	2Qで取り上げた曲の中から一曲演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、3Qに向けての目標を設定する。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	マルチトレーニング(Key) II	藤本暁子

科目概要

秋学期は、テンションコードを弾けるようにしていきます。3Qはジャズブルースのコードの押さえ方を練習していきます。Key of C, F, Bbの練習をしていきます。4Qはジャズスタンダード曲を弾けるように練習します。ジャズ・スタンダード・バイブルを持参してください。

到達目標

テンションを含むコードの基本の押さえ方から始まり、転回形も押さえられるようにする。できる学生は、リズムを伴ったコンピングに挑戦したり、ソロにも挑戦してみる。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズブルース (key of C)	♪ : C jam blues / Lesson 7
第2回	ジャズブルース (key of C)	♪ : C jam blues / Lesson 7
第3回	ジャズブルース (key of F)	♪ : Now's the time / Lesson 8
第4回	ジャズブルース (key of F)	♪ : Now's the time / Lesson 8
第5回	ジャズブルース (key of Bb)	♪ : The Chicken / Lesson 9
第6回	試験	3Qで取り上げた曲の中から一曲演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、4Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Major key : II m7 - V7 - I M7	♪ : Satin doll / Lesson 10
第2回	Minor key : II m7(b5) - V7 - I m7	♪ : Black Orpheus / Lesson 10
第3回	色々なテンションコード	♪ : ジャズ・スタンダード・バイブルの中から自分で好きな曲を選び練習 / Lesson 11
第4回	色々なテンションコード	♪ : ジャズ・スタンダード・バイブルの中から自分で好きな曲を選び練習 / Lesson 11
第5回	色々なテンションコード	♪ : ジャズ・スタンダード・バイブルの中から自分で好きな曲を選び練習 / Lesson 12
第6回	色々なテンションコード	♪ : ジャズ・スタンダード・バイブルの中から自分で好きな曲を選び練習 / Lesson 12
第7回	試験	4Qで取り上げた曲の中から一曲演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、1年間の授業を振り返ってみる。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	マルチトレーニング(Per) I	吉川 弾

科目概要

打楽器以外専攻楽器者対象の授業です。春楽器はポップスにおけるパーカッション(ブラジリアン、ラテン)の種類、コンガの基本的な奏法などを学びます。

到達目標

全員が、コンガの奏法を習得し、一曲を通して演奏出来るようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	コンガ、ラテンパーカッションの説明
第2回	コンガの基礎練習の仕方	オープン、オープンスラップ
第3回	コンガの基礎練習の仕方	スラップ、ヒール&トゥー
第4回	ビートを叩いてみよう	基礎練習でした事の組み合わせ
第5回	ビートを叩いてみよう	基礎練習でした事の組み合わせ
第6回	ビートを叩いてみよう	何種類かのフィルイン
第7回	基本ビートとフィルインを織り交ぜて16小節程度を演奏するテスト	実技試験

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	いろいろなコンガのビート	コンガパターンのバリエーション
第2回	いろいろなコンガのビート	コンガパターンのバリエーション
第3回	いろいろなコンガのビート	フィルイン、展開のつけ方
第4回	曲に挑戦	曲の解説(One Note Samba)
第5回	曲に挑戦	Aセクションのパターン
第6回	曲に挑戦	Bセクションのパターン
第7回	一曲演奏	1曲通してみよう
第8回	試験 課題曲の演奏	実技試験

学期末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	マルチトレーニング(Per)Ⅱ	吉川 弾

科目概要

秋楽器は、コンガも含め、ボンゴ、等の皮もの、トライアングル、カウベル、タンバリン等の小物、カホーンの知識を深めます。

到達目標

ドラムとのアンサンブルによりどのような効果をもたらされるのか、様々な楽器のリズムパターンを知ることにより、専攻楽器の演奏が豊かになる事を目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽器を知ろう	ボンゴ、カホーンの基本的な叩き方
第2回	楽器を知ろう	シェーカー、トライアングル、カウベル、タンバリンの基本的な叩き方
第3回	楽器を知ろう	ティンパレスの基本的な叩き方
第4回	リズムを知ろう	各楽器の基本的なリズムパターン
第5回	リズムを知ろう	各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
第6回	リズムを知ろう	各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	実技試験

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ドラムと一緒にグループを作ろう	ロック&ポップス(Rock with You)
第2回	ドラムと一緒にグループを作ろう	ボサノバ(イパネマの娘)
第3回	ドラムと一緒にグループを作ろう	サンバ(Blue Bossa)
第4回	ドラムと一緒にグループを作ろう	サルサ(Mambo In)
第5回	ドラムと一緒にグループを作ろう	ソンゴ(Manteca)
第6回	ドラムと一緒にグループを作ろう	ジャズ(Now the time)
第7回	グループを知ろう	カホーンを中心に小物を交えつつソロ
第8回	(試験)テーマ	みんなでアンサンブル

学期末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。